

農林水産就業促進サイトを開設しました！

－ 農林水産業への就業希望者、来たれ連合エリアへ －

平成29年12月21日
広域産業振興局 農林水産部

平成29年11月30日、関西広域連合ホームページ広域産業振興農林水産ページに「**農林水産就業促進サイト**」を開設しました。

平成28年8月より先行して公開している「就農促進サイト」を林業・漁業分野にも拡大し、農林水産業への就業希望者に広く情報を発信します。

○サイトの概要

農業・林業・漁業版の「**就業ガイド**」により、構成府県市の情報を一括して閲覧できます。構成府県市の農業、林業、漁業の就業支援情報へリンクできます。

◆ 農林水産就業促進サイト(関西で農林水産業を始めたい方へ)

関西広域連合では、構成府県市が実施する農林水産業への就業相談会の開催情報や研修制度、補助事業の概要などの就業支援情報を集約した「就業ガイド(農業版、林業版、漁業版)」及び「農林水産就業促進サイト」を作成しましたので、情報収集にご利用下さい。

○各種就業情報はこちらから↓

- ・ **農業** の情報(就農促進サイトへ)

詳細はこちら [クリック!](#)

- ・ **林業** の情報(林業版就業促進サイトへ)

詳細はこちら [クリック!](#)

- ・ **漁業** の情報(漁業版就業促進サイトへ)

詳細はこちら [クリック!](#)

農林水産就業促進サイト(広域産業振興農林水産ページ内)

関西広域連合 就農ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた農業が展開され、その生産物は多様性に富んでおり、京都・大阪を中心に育まれた歴史と伝統ある食文化とともに発展してきました。

この「就農ガイド」では、関西広域連合域内で実施されている就業相談会の開催情報や就業研修制度、補助事業の概要などの就業支援情報を集約しました。関西での就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご利用いただければ幸いです。

目次	
滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13
京都市	15
神戸市	17
堺市	19

最新情報は
「[関西広域連合就業促進サイト](#)」
をご覧ください。

▶ 検索ワードはこちら ▶
▶ 関西 就業 ▶
▶ QRコードからアクセス

平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 就農促進課

就農ガイド

関西広域連合 林業就業ガイド

この「林業就業ガイド」では、関西広域連合域内の林業の状況、実施されている就業相談会の開催情報や就業研修制度などの就業支援情報を集約しました。

関西での就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご利用いただければ幸いです。

目次	
滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13
京都市	15

平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 林政課

林業版就業ガイド

関西広域連合 漁業就業ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた漁業が展開されており、多様な水域から豊富な水産物が漁獲されています。

この「漁業就業ガイド」では、関西広域連合域内における漁業に関する新規就業者の状況や新規就業支援制度などを集約しました。関西での漁業への就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご利用いただければ幸いです。

目次	
滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13

平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 水産課

漁業版就業ガイド

○今後の取組

各種就業ガイドのデータを毎年度更新し、情報提供に努めます。

関西広域連合 就農ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた農業が展開され、その生産物は多様性に富んでおり、京都・大阪を中心に育まれた歴史と伝統ある食文化とともに発展してきました。

この「就農ガイド」では、関西広域連合域内で実施されている就農相談会の開催情報や就農研修制度、補助事業の概要などの就農支援情報を集約しました。関西での就農を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

目次

滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13
京都市	15
神戸市	17
堺市	19

Pick up !!

最新情報は
「[関西広域連合 就農促進サイト](#)」
をご覧ください。

▶ 検索ワードはこちら！

関西 就農

▶ QRコードからアクセス



平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 就農促進課

滋賀県

滋賀県農政水産部
農業経営課
〒520-8577
滋賀県大津市京町4-1-1
☎077-528-3845(直通)

滋賀県は、日本一大きな湖“びわ湖”をはじめとする豊かな自然に恵まれるとともに、大都市からの交通アクセスに優れた「ほどほど田舎 ほどほど都会」の暮らしが魅力です。

気候は、平均気温14.7度、降水量1,571mm（東京：平均気温15.4度、降水量1,528mm）で、過ごしやすい気候です。人口は1,413,079人（平成28年10月1日現在）で、平均年齢は年齢の若い順で全国3位、年少人口割合、出生率（人口千人あたり）は全国2位となっています。

※滋賀県移住・交流ポータルサイト

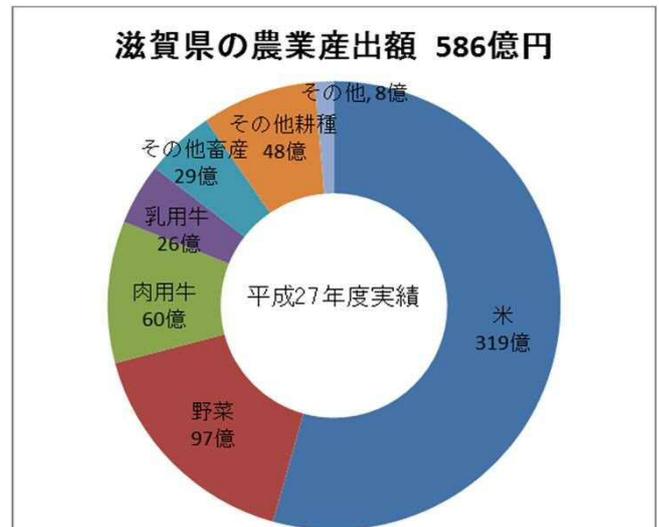
<http://www.pref.shiga.lg.jp/b/shichoson/iju/top.html>



◆滋賀県の農業

滋賀県の農業は、琵琶湖をはじめとする豊かな自然の恵みを受けて、近江米をはじめ、麦や大豆、野菜、果樹、茶など多彩な農産物が生産されています。また、近江牛をはじめ、乳用牛や養鶏等、高品質で安全な畜産物が生産されています。

新規就農者は、ビニールハウスなどを利用して、いちごやトマトといった施設野菜で自営就農したり、米等を生産する農業法人へ就職就農される事例が多く見られます。



◆先輩就農者の状況

①就農者数 平成28年度 110名

【内訳】

- ・非農家出身者68名、農家出身者42名
- ・45歳未満101名、45歳以上9名
- ・自営就農者52名、就職就農者58名

②品目

- ・自営就農52名のうち、野菜が30名、米が12名
その他（茶、花き、果樹、酪農等）10名
- ・就職就農58名のうち、32名が米、野菜が12名、畜産7名
その他（果樹、花き、茶等）7名

◆就農関連イベント・相談窓口

①就業フェア・農業体験など

内容	日時	場所
五感で感じるしごの農業体験	平成29年8月24日～26日	県内農業者
現地見学バスツアー	平成29年10月予定	県内就農者農場等
就農準備講座	平成29年9月10日および12月	滋賀県婦人会館他
農業で働く!魅力発見フェア	平成29年11月18日	龍谷大学
しごの農林水産業就業フェア	平成30年2月頃	未定

※予定が決まれば、県および下記②担い手育成基金のHPでお知らせします。

②就農相談窓口

県では、下記機関を「青年農業者等育成センター」に指定し、就農相談員による面談、電話、メール等による相談を一年を通じて受け付けています。詳しくは基金HP (<http://shiganou.com/>) をご覧ください。

名称	住所	電話番号
(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金	大津市松本1丁目2番20号	077-523-5505

※就農予定地が決まっている方等には、県の農業農村振興事務所農産普及課において、就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

滋賀県立農業大学校に「養成科」と「就農科」を設置しています。

「養成科」は、修業年限2年で、高度な専門知識と技術・経営能力を持つ農業者を育成します。「就農科」は県内で就農を目指す方々を対象に、1年間の実践的な農場実習や講義を行います。

名称	住所	電話番号
滋賀県立農業大学校	滋賀県近江八幡市安土町大中503	0748-46-2551

農業大学校HPアドレス <http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo-nodai/index.html>

また、農業大学校以外に、県が認定した指導農業士123名において、研修を受けることもできます。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業や青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。また、その他の県や市町の支援策は、下記農水省HPに掲載しています。

http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/madoguchi.html#tiiki_shien

【お問い合わせ先】

滋賀県農政水産部農業経営課 ☎077-528-3845

(公財) 滋賀県農林漁業担い手育成基金 ☎077-523-5505

京都府

京都府農林水産部
経営支援・担い手育成課
〒602-8570
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町
☎075-414-4942(直通)

京都府は、長い歴史と伝統に育まれた文化や観光業、製造業、サービス業など多様な産業に恵まれています。農業においても、他にまねのできない京都ならではの競争力のある農産物づくりができます。

京都府では、京都農人材育成センターが就農から地域の定着に加え、経営の段階に応じた研修を行い、きめ細やかな就農・就業支援をいたします。



◆京都府の農業

京都府では農地の約80%を水田が占め、水稻が中心となっています。一方で、京のブランド産品に代表される野菜づくり（九条ネギ、京みず菜、万願寺とうがらし等）にも力を入れており、府内農業産出額の割合は野菜が米を上回っています。

【地域ごとの特色】

○丹後地域

米づくりが盛んな地域ですが、大規模な畑もあり、野菜や果樹、茶などの産地づくりが進められています。

○中丹地域

早くから進められてきたほ場整備がほぼ完了し、由良川沿いを中心に米づくりが盛んな地域です。

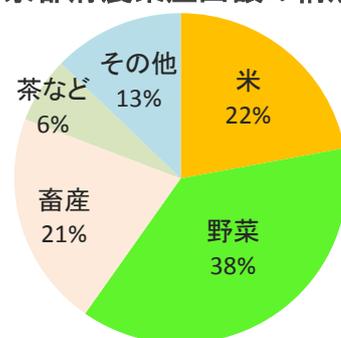
○南丹地域

米づくりを中心に、小豆・黒大豆などのほか、ブランド京野菜や枝豆の栽培も盛んです。

○京都市、山城地域

野菜や花、茶が多く作られています。消費地に近いため、農産物直売所での販売等に取り組むグループもたくさんあります。

京都府農業産出額の構成



平成27年生産農業所得統計

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 新規116名（うち新規参入88名）
- ②品目 京野菜を中心とする施設園芸を基本とした農業経営が主流です。
- ③地域活動 地域の担い手として、様々な活動での活躍を期待されています。
- ④農地取得 農地中間管理機構が、農地取得をサポートしています。また、担い手養成実践農場（右面参照）では、研修農地をそのまま活用して就農することができます。

◆就農相談

●農林水産業ジョブカフェ（下記の問い合わせ先参照）では、専門の相談員が常駐し、農業を始めたい方や田舎暮らしのために農村へ移住を考えている方への情報提供や相談に対応しています。午前9時から正午・午後1時から午後5時（日、祝日を除く）。要事前予約。

●京都府内での就農相談会の開催日程

会場	日時	場所
新規就農希望者と農村を結ぶ集い	平成29年7月30日	京都府立農業大学校
京都府農林漁業就業相談会	平成30年2月頃(京都府農業総合支援センターHP等で周知予定)	京都市内(予定)

※いずれも参加を希望する場合は、下記の（公社）京都府農業総合支援センターまでご連絡ください。

◆就農研修制度

研修名	開催日時	募集予定人数	場所	受講料	申込締切
就農プレインターンシップ制度 (1日又は3日体験コース)	ジョブカフェでの相談を通じて随時	予算に応じて	京都府内 (京都市内、 亀岡市内等)	無料	定員になり次第終了
就農インターンシップ制度 (1～6ヶ月のOJT研修)	ジョブカフェ等での相談を通じて随時	予算に応じて	京都府内の 農業法人等	無料	定員になり次第終了

◆補助事業の概要

事業名	事業内容	対象者	支援項目	備考	
担い手養成実践農場	就農準備型	就農予定地域に技術指導者や担い手づくり後見人を設置。最長2年間の実践研修で、技術習得から地域定着まで一貫支援。	農業を生業とした独立・自営就農を目指す方	・技術指導者、担い手づくり後見人設置 ・研修・就農地借上げ ・住宅家賃補助等 ・第三者経営継承のアドバイザー派遣	要件を満たせば、農業次世代人材投資事業との併用可
	経営開始型	就農後、間もない方に、技術指導者や担い手づくり後見人を設置。1年間の技術指導等で、確実な地域定着と安定経営を支援。	農業を生業とした独立・自営就農を開始した方	・研修・就農用農地、施設、機械の整備 ・住宅改修	
丹後農業実践型学舎	丹後国営開発農地を中心に、大規模野菜作の生産技術から販売戦略までの経営力の習得を支援。(研修期間2年)	大規模農業経営を目指す ・概ね40歳未満の若手農業者 ・新規参入法人	・丹後国営開発農地等での実践研修 ・商品開発や販路開拓力づくり研修 ・就農農地の確保(約2ha)と土地改良工事による営農条件整備 ・農業機械のリース支援 ・就農後の法人化支援		

【お問い合わせ先】 京都府経営支援・担い手育成課 ☎075-414-4942
 （公社）京都府農業総合支援センター ☎075-417-6847
 農林水産業ジョブカフェ ☎075-682-1800
 （京都市南区東九条下殿田町70 京都テルサ西館3階）

大阪府

大阪府環境農林水産部
農政室推進課経営強化グループ
〒559-8555
大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16
大阪府咲洲庁舎22階
☎06-6941-0351(代表)

●大阪の魅力の一つは「食」

大阪は、江戸時代に「天下の台所」と呼ばれ、全国各地から様々な人やモノが行き交うことで多様な食文化が栄え、以来、大阪の魅力の一つとして豊かな「食文化」は欠かせないものとなっています。大阪では、その食文化を支える都市農業のメリットを生かした高収益型の農業が営まれています。



●府内880万人の消費者を相手に「もうける」農業を！

大消費地を抱えるメリットを最大限に活かした収益性の高い農業経営を目指して、近年多くの就農希望者が大阪府で農業をスタートしています。規模は小さくともキラリと光る「もうける」農業を目指す方を応援しています。

◆大阪府の農業

●大阪農業の特徴

- ・都市部という立地を活かした施設園芸等の集約的な農業経営
- ・しゅんぎく(2位)、いちじく(4位)、ぶどう(7位)などは全国でも有数の産地 ※()内は全国における収穫量の順位
- ・府内で生産された農産物を大阪産(もん)として統一ロゴマークでPR



880万人の大消費地で・直売所の売上げは約76億円

販路開拓のチャンス!! →府内には多数直売所があり、消費者ニーズは高い

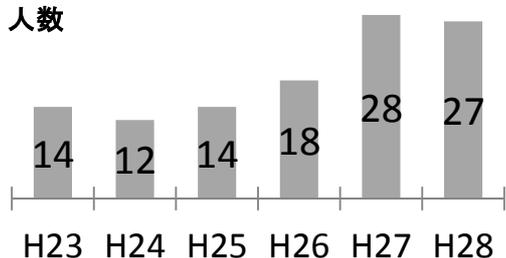
・新規参入者の多くが、近隣の直売所で販売するほか、自ら営業を行って、レストラン等の飲食店へ卸し、販路を拡大しています

●大阪農業の成長産業化に向けて【大阪府で実施する農業者へのサポート】

- ・新規就農者や若手農業者の経営をサポート → 農の成長産業化推進事業※
※農業ビジネススクール「大阪アグリアカデミア」や農業経営プランコンテスト「おおさかNo-1グランプリ」など
- ・農家女性の活躍を応援 → 大阪発☆女性農業者応援事業
- ・都市住民など多様な担い手の農業参入への支援 → 準農家制度
- ・障がい者雇用による企業等の農業参入をサポート → ハートフルアグリ推進

◆先輩就農者の状況

人数



＜新規参入者数の推移＞

- ・平成23年度～平成28年度にかけて、計113名が新規参入し、農業を開始
- ・都市住民など多様な担い手の農業参入への支援制度として、小規模な農地で農業経営を開始することが出来る準農家制度を設け、農業参入を支援

◆就農相談会

H29年度 開催および参加予定の就農相談イベント一覧

名称	日時	場所
おいでや!!いなか暮らしフェア	平成29年7月29日(土)	大阪マーチャンダイズマート
大阪府就農ガイダンス・相談会	平成29年10月(予定)	(未定)
新・農業人フェア	平成30年1月27日(土)	大阪マーチャンダイズマート

※大阪府では、毎週木曜日の午後に就農相談を随時受け付けております。事前に、下記お問い合わせ先「大阪府農政室推進課経営強化グループ」へ電話予約をお願いしております。

◆就農研修制度

○新規就農村 【H29新規事業】

新規就農希望者が、独立自営就農をめざして、週末を中心に地域の主力農業者等による農業の実践研修や座学研修を受けて新規就農を目指す制度

○大阪型農業インターンシップ制度【H29新規事業】

農業体験や農業研修を希望する者が、府内の農業者のもとで体験やインターンシップ研修を受けられる制度

○戦略型農業人材マッチング支援事業【H29新規事業】

大阪府が指定する品目の作物を栽培する農家のもとで、雇用就農するための事前研修を受ける制度

○地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 農業大学校

養成科

学業期間：2年間（前後期制） ， 募集定員：25名

受験資格：募集年度3月に高等学校卒業見込みの者、高等学校卒業者、高等学校を卒業した者と同程度以上の学力があると理事長が認めた者 ※学生募集要項についてはこちら

<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/noudai/guide/page008.html>

また、準農家希望者等を対象として下記短期プロ農家養成コースを開催しています。

研修名	研修日数・期間	予定定員	申込〆切
集中コース (野菜部門)	全40日程度／上期:4月～3月 下期:10月～9月	上期:10名 下期:10名	上期:3月24日 下期:9月中旬予定
集中コース (果樹部門)	全20日程度／上期:4月～3月 下期:12月～11月	上期:10名 下期:5名	上期:3月24日 下期:9月中旬予定
入門コース	全3日／7月および1月	どちらも25名程度	7月:6月23日 1月:12月予定

※受講料 集中コース 野菜部門:20,000円 果樹部門:10,000円 入門コース:1500円

・このほか、府内には独自の研修を行っている市町村やJAもあります。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業、青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。

【お問い合わせ先】 大阪府農政室推進課経営強化グループ ☎06-6210-9596
一般社団法人大阪府農業会議 ☎06-6941-2701

兵庫県

兵庫県農政環境部
農政企画局農業経営課
〒650-8567
兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
☎078-341-7711(代表)

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、多様な自然環境を有しています。文化的、歴史的に形成された5つの地域“五国”（摂津・播磨・但馬・丹波・淡路）で構成され、それぞれの地域が気象条件や立地を活かした特色のある農業を展開しています。

兵庫県では、多様な就農希望者に対して、就農支援体制を整備し、地域特性に応じた支援を行うとともに、新規就農者に対して技術面や資金面において様々な支援を行っています。

◆兵庫県の農業

北部は水稻を主体とした地域であり、南部は温暖な気候を利用した多毛作地帯で、京阪神という大消費地を控えており、それぞれの立地条件や気象条件を生かした多彩な農業が営まれています。

生産量で全国順位の上位を占める農林水産物が多く、主なものとして、酒米の山田錦（1位）、丹波黒（黒大豆）（1位）、たまねぎ、いちじく、カーネーションなどがあります。また、神戸ビーフは全国的にも有名なブランドとして知られています。



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 297名（うち新規参入205名）
近年女性の割合が増えています。（平成28年度 14.8%）
- ②品目 野菜（施設および露地）が大半を占め、次いで水稻、畜産の順となっています。畜産での就農者のほとんどが繁殖・肥育和牛です。
- ③就農形態 独立就農者数と雇用就農者数の差はほとんどありませんが、近年雇用就農希望者が増えつつあります。

◆就農相談会

女性向け相談ブース設置

『就農希望者向け就農セミナー・相談会』

実施時期：平成29年8月6日（日）、平成30年2月下旬～3月上旬

場 所：神戸国際会館

内 容：就農情報提供や、県内の新規就農者による体験発表等を行います。
農業法人等による相談ブースを設置し、個別相談に対応します。

※ひょうご就農支援センターでも、随時就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

研修名	内容	開催日程	募集期間	実施機関
農業インターンシップ研修	農業体験を通じて、就農イメージを醸成する	随時	随時	(一社)兵庫県農業会議
新規就農者等育成研修(実践研修)	就農希望者を対象に農大の施設等を利用した実践的な研修	(1年間)平成29年9月1日～平成30年8月31日	平成29年5月1日～5月26日【募集終了】	県立農業大学校
就農準備研修(春期・冬期)	就農準備に必要な予備知識や研修制度について	(春期)平成29年5月18日 (冬期)平成30年2月8日	(春期)平成29年4月18日～5月10日【募集終了】 (冬期)平成30年1月9日～1月31日	
栽培技術基礎研修(施肥の基礎知識)	施肥の基礎知識(ミネラルの力)について	平成29年11月26日	平成29年10月16日～11月8日	
農作業技術基礎研修	農機具の使い方や安全な農作業について	平成29年5月25日、6月1日、6月15日	平成29年4月25日～5月17日【募集終了】	
農業経営基礎研修	農業経営の基礎知識や簿記について	平成29年6月29日、7月6日	平成29年5月29日～6月21日【募集終了】	
農の匠研修(6次産業化)	先進的経営事例等による研修	平成29年7月27日	平成29年6月27日～7月19日【募集終了】	
農の匠研修(チャレンジ就農者)	先輩新規就農者の経営事例を学ぶ	平成29年10月26日	平成29年9月26日～10月18日	
農の匠研修(ベテラン経営者)	ベテラン経営者の経営事例を学ぶ	平成29年11月9日	平成29年10月10日～11月1日	
ニューフロンティア技術研修	技術センターが開発した新技術について	平成29年10月4日	平成29年9月4日～9月26日	
新規就農駅前講座	働きながら就農のための基礎知識を習得する(4期、各6回)	①平成29年5月23日～6月24日、②7月8日～8月12日、③9月12日～10月14日、④10月28日～12月2日	2ヶ月前～	
生きがい農業コース	栽培の基礎知識と技術を習得する	6か月間(平成29年9月～平成30年2月)	平成29年6月中旬～	
就農コース	就農を目指して、総合的な知識と技術を習得する	1年間(平成29年8月下旬～平成29年9月上旬)〈週5日〉	平成29年6月上旬～	

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業、青年等就農資金、農の雇用事業

【お問い合わせ先】

ひょうご就農支援センター ((一社)兵庫県農業会議) TEL : 078-392-1222
 (公社)兵庫みどり公社兵庫楽農生活センター TEL : 078-965-2047
 兵庫県立農業大学校 TEL : 0790-47-2445
 兵庫県農政環境部農政企画局農業経営課 TEL : 078-362-9194

和歌山県

和歌山県農林水産部
農業生産局経営支援課
〒640-8585
和歌山県和歌山市小松原通1-1
☎073-432-4111(代表)

和歌山県は、温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、果樹を中心に野菜、花き等多くの農産物を生産する農業県です。近年は、自然に囲まれた環境で仕事ができる農業に魅力を感じ、実際に自分でやってみたいという方が幅広い世代で増えています。

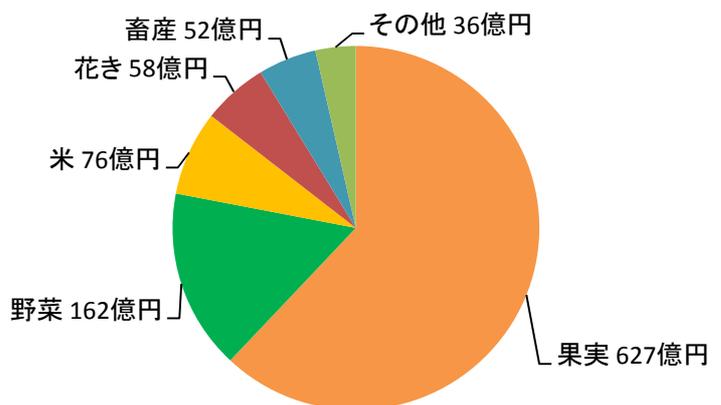


和歌山県では、農業をやりたいという様々な要望にお応えして、農業を始めるきっかけとしての就農相談や農作物の生産技術を身につける就農研修、就農支援事業の実施等就農前後のサポートを行っています。

◆和歌山県の農業

和歌山県の農業産出額の構成は全国・近畿とは大きく異なっており、果実の構成比が62%と半分以上を占めています。果樹（みかん、うめ、かき、もも）、野菜（えんどう、ししとう）、花き（スターチス）などが基幹品目で、全国でも有数の産地を形成しています。新規就農者の場合は、ハウスを使って、イチゴやトマトに取り組む事例も増えています。

平成27年 農業算出額（1,011億円）



和歌山県は変化に富む地形と気候の中で、それぞれの地域に適した農作物が生産されています。そのため、どの地域で就農するかで作る作物が制限され、逆に何を作るかで就農地が概ね決まります。情報収集したり、就農相談に訪れたりしながら、どのような農業を目指すのかを考え、自らの農業ビジョンを描いて下さい。

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 153名（うち新規参入 43名）
- ②品目 野菜（特に施設園芸）及び果樹栽培が多いのが特徴です。
- ③地域活動 新規就農者グループに参加したり、集落の祭りや自治会活動の担い手として活動したり、自らの経験を生かして活躍されています。
- ④農地取得 地域の農業者やJAからの紹介による農地の貸借が多いのが実態です。農地中間管理機構や各地域の農業委員会でも相談を受け付けています。

◆就農相談会

お気軽にご参加ください

名称	日時	場所
夜の就農相談会	平成29年8月10日（木）	和歌山県就農支援センター（御坊市）
朝日U・Iターンフェア	平成29年9月3日（日）	ヒルトンプラザウエスト（大阪市）
新・農業人フェア	平成29年9月16日（土）	名古屋市中小企業振興館（名古屋市）
U・Iターン就農相談フェア	平成29年11月26日（日）	和歌山ビッグ愛（和歌山市）
新・農業人フェア（予定）	平成30年1月27日（土）	OMMビル（大阪市）
U・Iターン就農相談フェア	平成30年2月25日（日）	和歌山ビッグ愛（和歌山市）
新・農業人フェア（予定）	平成30年2月10日（土）	池袋サンシャインシティ（東京都豊島区）
U・Iターン就農相談フェア	平成30年3月11日（日）	和歌山県就農支援センター（御坊市）

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

◆就農研修制度

（受講料無料・実費負担のみ）

開催場所：和歌山県就農支援センター（和歌山県御坊市）

研修名	研修日数・期間	予定定員	申込締切日
農業体験研修	毎月1回	10名/1回	研修日の10日前まで
ウィークエンド農業塾	全10日間/9～10月	15名	平成29年8月18日（金）
技術習得研修	全25日間/10～2月	8名	平成29年9月14日（木）

※平成30年度の就農研修制度は、平成30年2月頃に公表します。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資資金、青年等就農資金、農の雇用等の事業を活用できます。

平成29年4月 和歌山県農林大学校 始動！

注目

農学部アグリビジネス学科

詳しくは農林大学校HPで
<http://www.ag-wakayama.ac.jp>

企業的感觉に優れ、6次産業化や
 海外も視野に入れた戦略的に
 チャレンジできる人材を育成！

【お問い合わせ先】

和歌山県経営支援課
 和歌山県農林大学校農学部
 和歌山県就農支援センター
 和歌山県農業会議
 和歌山県農業公社

☎073-441-2932
 ☎0736-22-2203
 ☎0738-23-3488
 ☎073-432-6114
 ☎073-433-5547

最新情報は「和歌山県就農支援センター」ホームページでチェック！

農業に興味がある、農業を始めたいと思ったら、

和歌山 就農

検索

鳥取県

鳥取県農林水産部
経営支援課
〒680-8570
鳥取県鳥取市東町1丁目220
☎0857-26-7261

青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々。豊かな自然に囲まれた鳥取県では、特産の二十世紀梨をはじめ、特色ある数々の農産物が生産されています。

このような環境の中、鳥取県では、農業を始めようとする方へ向けた相談体制や各種研修、就農時の機械・施設等の導入助成の実施など、様々な支援施策を用意し、関係者が一体となって、新たに農業を始める方への応援を行っています。

◆鳥取県の農業

鳥取県では、米、野菜、果実、畜産がバランスよく営まれ、平野部の水田地帯、海岸線に広がる砂丘地帯、中国地方最高峰の大山山麓の肥沃な黒ぼく地帯など、地域の特性を生かした農業が行われています。

近年では、野菜での新規就農者が増えており、野菜では、スイカ、白ネギ、ブロッコリー、トマト、イチゴなど、地域にあった品目が選ばれています。特に、鳥取県西部を中心に生産されていた白ネギは、現在は県下全域に産地拡大し、新規就農者が取り組みやすい品目となっています。

また、果樹では梨の新甘泉、柿の輝太郎などの鳥取県オリジナルブランドの登場により、就農希望者の注目を浴びています。

鳥取県へ1ターン就農したご夫婦



◆先輩就農者の状況

① 新規就農者数 平成28年 132名（うち独立・自営就農者53名）

② 先輩新規就農者の紹介

他産業から新たに農業参入したIさん



◆経営品目：キュウリ、トマト、ナス

◆これから就農する人に一言

自信を持って農業を始められるよう、きちんとした営農計画を立てたり、必要な技術を身につけるなど、就農前の事前の準備を怠らない事が大切だと思います。

妻の実家で1ターン就農したSさん



◆経営品目：ブロッコリー、スイートコーン

◆これから就農する人に一言

鳥取県は基幹作物となる品目が多く、支援体制も手厚いので、参入しやすい場所でした。就農後は、農作業だけでなく、地元農家と積極的に交流し、地域に溶け込むことが大切です。

◆その他の先輩新規就農者からの一言

経営開始すると想定外の資金が必要になります。できるだけ多く自己資金を確保しておきましょう。また、同じ作物を作る先輩農家や同世代の仲間を増やし、相談しあえる環境を作ることも大切です。

◆就農相談会

鳥取県内での開催日程

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就農相談を受け付けています。

会場	日時
鳥取県立図書館 (鳥取市尚徳町101)	平成29年4月16日(日)
	平成29年7月16日(日)
	平成29年10月8日(日)
倉吉市立図書館 (倉吉市駄経寺町187-1)	平成29年5月28日(日)
	平成29年8月20日(日)
	平成29年11月5日(日)
米子市立図書館 (米子市中町8)	平成29年5月14日(日)
	平成29年9月17日(日)
	平成30年2月11日(日)

◆就農研修制度

研修の種類	内容	実施予定時期等	研修実施主体	
アグリチャレンジ研修	公共職業訓練として、4ヶ月間、農業の基礎知識のほか、実践に活かせる基本技術を習得	6・10・2月開講 (受講料無料)	鳥取県産業人材育成センター 倉吉校	
実践研修	先進農家実践研修	自営就農を目指す者が、1年間先進農家のもとで実践的な栽培管理、経営ノウハウを習得	6・10・2月開講 (受講料無料)	鳥取県立農業大学校
	スキルアップ研修	主として農業後継者が、就農品目について、一連の管理作業を自力で行う「模擬経営」を1年間行う	4・10月開講 (受講料111,600円)	
	鳥取へJU!アグリスタート研修	自営就農を目指す者を職員(研修生)として雇用し、先進農家等で実践農業技術、経営ノウハウを習得	第11期生(予定) 平成30年2月から 最長2年間	(公財)鳥取県農業農村担手育成機構

※その他市町村農業公社等が実施する農業研修もあります。

◆補助事業の概要

事業名	事業の内容	事業費・実施期間
農業次世代人材投資事業	【準備型】就農予定時の年齢が45歳未満の者が、就農研修を受ける場合に資金を交付(最長2年間) 【経営開始型】就農時原則45歳未満の者に対し、就農後の経営安定、定着促進のため資金を交付(就農後最大5年間)	【準備型】 年間150万円 【経営開始型】 年間最大150万円
就農応援交付金	就農初期に係る運転資金、基盤整備費等に活用できる交付金を交付 ※農業次世代人材投資資金(経営開始型)の受給者は対象外	1年目：10万円/月 2年目：6.5万円/月 3年目：4万円/月
就農条件整備事業	就農時に必要な農業機械・施設を新規就農者が整備する場合や農協等がリースする場合に助成(1件当たり取得価格10万円以上)	事業費上限：1,200万円 補助率：1/2 期間：就農後5年以内
就農・暮らしアドバイザー	Iターン者等の新規就農者に対し、農業経営、農村生活に対する身近な相談役としてアドバイザーを設置	就農後概ね1年以内
親元就農促進支援交付金	認定農業者等の後継者が親の経営に従事しながら、親元で行う就農研修に対して助成(2年以内)	10万円/月

※農業法人等でのOJT研修への助成も行っています。(鳥取県版農の雇用支援事業)

【お問い合わせ先】 鳥取県農林水産部経営支援課 ☎0857-26-7261
(公財)鳥取県農業農村担手育成機構 鳥取本部 ☎0857-26-8349
米子本部 ☎0859-31-9644

鳥取県で農業を始めようと思ったら

鳥取県 就農 検索

徳島県

県立農林水産総合技術支援センター
経営推進課
〒770-8570
徳島県徳島市万代町1-1
☎088-621-2429(直通)

徳島県は、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、農産物の種類が豊富であり、「関西の台所」とも言われるほど、京阪神市場への一大供給産地としての地位を築いています。あなたもこの徳島で農業を職業としてがんばってみませんか？



春にんじんのトンネル栽培

農家出身者以外の方が農業を行うことは、栽培技術、農地の確保、生産物の販売、自然への対応、地域とのつながり、経営資金等いろいろな課題があります。

徳島県では、やる気のあるあなたの就農に関係するあらゆる相談に応じています。また、農業法人等で働いて農業に携わっていく方法もありますので、農業に興味があるあなた、ぜひ徳島県の相談窓口にご連絡ください。

◆徳島県の農業

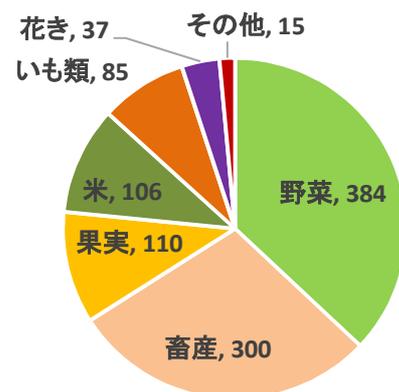
徳島県の農業産出額の構成は、部門別では野菜が37.0%を占めもっとも高く次いで畜産28.9%、果実10.6%、米10.2%の順となっています。

野菜では、徳島県農産物を代表するトップブランドのサツマイモ「なると金時」や全国一の生産量を誇る「春にんじん」、西日本一の生産量の「れんこん」などがあり、畜産では、地鶏肉生産量全国一を誇る高級地鶏「阿波尾鶏」が有名です。

果実では、全国シェアの98%を占める本県特産のすだちをはじめ、みかん、ゆずなどの生産が盛んです。

徳島県の農業は、本県の持つ変化に富んだ地形や気象条件をうまく生かし、四季を通じて消費者ニーズに即応した健康・安全でかつ新鮮な食材を京阪神地方を中心として安定的に供給しています。

農業算出額H27(億円)



◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 146名(うち新規参入者85名)
年齢別では、40歳未満が105名、40歳以上が41名
就業先別では、自営就農が72名、法人等への就業が74名
- ②品目 新規就農者の約8割が野菜栽培に取り組んでいます。野菜の他は果樹、畜産、花き、水稻となっています。

◆就農相談

徳島県では、就農相談窓口を設置し、随時就農相談を受け付けています。

- ①総合窓口 県立農林水産総合技術支援センター経営推進課
☎088-621-2429
- ②受入窓口 徳島県新規就農相談センター（一般社団法人徳島県農業会議内）
☎088-678-5611

また、「新農業人フェア」東京会場及び大阪会場に相談ブースを出展する予定です。

◆就農研修制度

とくしま就農スタート研修

徳島県では、本県で新たに農業を始めたい方が、円滑に就農できるよう、県内の農業法人等が研修生として雇用し実践的な技術を習得していただくための研修を実施しています。

- ①応募資格 徳島県で就農する強い意欲をお持ちの55歳未満の方
- ②研修期間 （第一回研修）平成29年7月1日～平成29年11月30日
（第二回研修）平成29年12月1日～平成30年2月28日
- ③募集人数 第一回と第二回をあわせて40名程度
- ④募集期間 （第一回研修）平成29年6月14日
（第二回研修）平成29年10月16日
- ⑤お問い合わせ 一般社団法人 徳島県農業会議
☎088-678-5611

農業チューター制度

新規就農者は、地域で優れた農業経営を行っている指導農業士等から農業生産技術のみならず農地の確保や地域農業の慣習にいたるまで、マンツーマンで指導・助言を受けることができる制度を活用できます。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資資金や青年等就農資金、農の雇用事業等の事業を活用できます。

【お問い合わせ先】

県立農林水産総合技術支援センター経営推進課 ☎088-621-2429
徳島県新規就農相談センター（県農業会議内） ☎088-678-5611

徳島県で新たに農業を始めたい方は、徳島県新規就農者のための情報サイト「農の宝島！！とくしま」(<http://tokushima-shuno.jp/>)をチェック！

農の宝島とくしま

検索

京都市

京都市
産業観光局 農林振興室 農政企画課
〒604-8571
京都市中京区寺町通御池上る
上本能寺前町488
☎075-222-3351

京都市は、市域面積の77%を農地と森林が占め、各地域によって気候風土が異なることから、古くから多種類の農産物が生産され、農業が盛んに行われてきました。市街地を囲む緑豊かな三山や、市街地内に多く残される農地は、京都市の自然環境を生かしたまちづくりに大きく貢献し、山紫水明の都を形成する礎となっています。

◆京都市の農業

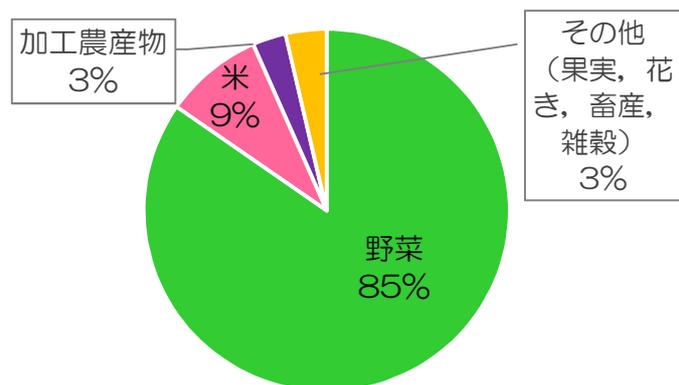
本市の農業生産額は、全体の85%を野菜が占めています。その中でも収穫量が多い品目は、キャベツ、なす、ねぎです。また、伝統野菜（賀茂なす、えび芋、堀川ごぼう 他）や新京野菜※（京てまり、京唐菜、みずき菜 他）など特色ある野菜も多く栽培されています。

農地の規模が小さい本市では、大消費地を抱えた優位な立地条件を生かし、京野菜をはじめ、水稻、花き、果樹など多様な農業生産が展開されています。また、観光農園や体験農園、特産物の育成等、地域の農業資源を生かした特色ある農業経営も行われています。

地域によって農地の状況や農業を行う環境が異なりますので、まずは現地に足を運んでいただき、自らの農業ビジョンを描きましょう！

※ 生産者や大学の協力を得て開発した京都の気候風土にあった新しい野菜。

平成27年度 京都市内農産物生産額の割合



◆先輩就農者の状況

- ①新規就農・就業者数（平成27年度実績） 34名
- ②主な営農類型 露地野菜
- ③農地取得方法 地域の農家の紹介による農地の貸借が多いです。地域の実態等については各農(林)業振興センターにお問合せください。また、農地中間管理事業についても相談を受け付けています。

◆就農相談会

独自の相談会は設けておりませんが、窓口及び電話相談は随時受け付けております。下記の連絡先にお気軽にお問合せください。なお、京都府の相談窓口は次のとおりです。

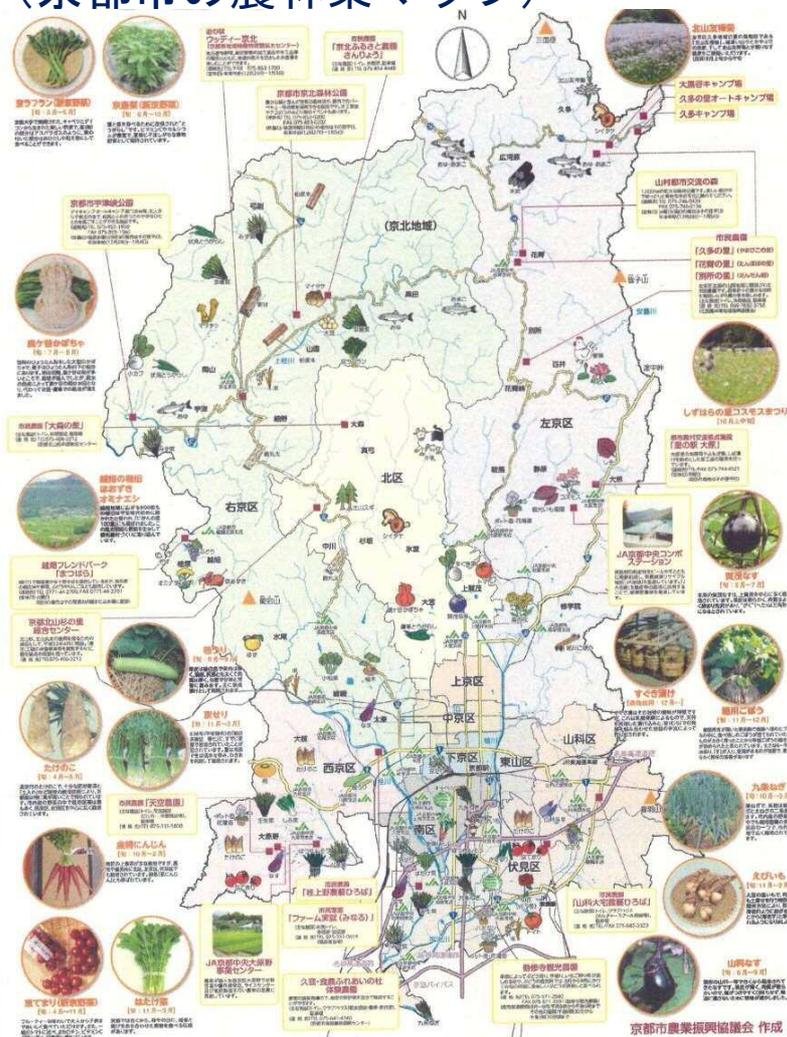
- ・京都ジョブパーク 農林水産業コーナー（075-682-1800）

◆独自制度

農業次世代人材投資資金（旧 青年就農給付金）を活用できるほか、「新規就農サポーター」を設置しています。この制度は、地域に設置されたサポーターが新規就農者を対象に、就農後に発生する課題等について相談役となって無料で助言・指導するとともに、技術的な指導を行うものです。

京都市はあなたの農業経営を全力でサポートします！

◆参考資料（京都市の農林業マップ）



【お問い合わせ先】

京都市農林振興室農政企画課

北部農業振興センター（北区，左京区，上京区）

西部農業振興センター（中京区，下京区，南区，右京区（京北地域除く））

東部農業振興センター（伏見区，山科区，東山区）

京北農林業振興センター（右京区京北地域）

☎075-222-3351

☎075-493-6660

☎075-321-0551

☎075-641-4340

☎075-852-1817

神戸市

神戸市経済観光局

農政部計画課

〒650-8570

兵庫県神戸市中央区加納町6-5-1

☎078-322-5351(直通)

神戸市は、一年を通じて晴天が多く、温暖な瀬戸内式気候のなか、西北神に広がる豊かな農業地域を活かして、ほうれん草やコマツナをはじめとする軟弱野菜やキャベツなどの野菜、新鮮・完熟が特徴のイチジクや梨などのフルーツ、



灘五郷のお酒の原料となる山田錦、美しい街並みを彩る花、世界に名を馳せる神戸ビーフ、など、神戸は多彩な農産物が生産される「食」の源泉となっています。

神戸市では、市内で農業を職業として取り組みたい方に対しての随時相談を行っています。

◆神戸市の農業

神戸市の農業地域は、消費地に近いことから、多様な農産物を直接届けることが可能です。情報収集を行いながら、どのような農産物を生産して販売するかなど、目指すべき農業経営をしっかりと描いてほしいと思います。

分類	品目	備考
野菜	キャベツ、小松菜、ホウレンソウ、ミズナなど	県下第2位
米	キヌヒカリ、コシヒカリ、ヒノヒカリ、山田錦、きぬむすめ	県下第3位
果樹	梨、いちじく、ぶどう、桃、イチゴなど	県下第1位
畜産	肉牛、酪農、豚	県下第5位
花	新鉄砲ユリ、花壇苗、トルコキキョウ、チューリップ、カーネーションなど	県下第3位
加工品	神戸ワイン、北神みそ、トマトジャム	

◆先輩就農者の状況

- ①就農者数 平成28年度 45名(うち新規参入 36名)
- ②品目 野菜栽培(施設6割、露地4割)が多く、直売所出荷が中心となっています。
- ③農地取得 研修先等からの紹介による農地の貸借が多いのが実態です。なお、神戸市における農地法3条許可下限面積は10aです。

◆就農相談会

神戸市では、下記「お問い合わせ先」で随時相談を行っています。
農業を始めたい方、また、考えている方は、まずは、下記「お問い合わせ先」
にお電話をお願いいたします（神戸市新規就農準備ガイドブックを進呈いたします）。

◆研修制度（体験）

神戸市では、農業に関心のある都市住民の方を農業サポーターとしての育成に
取り組んでいます。農作業支援を通じて、農業体験と農家の皆さんのやりがいや
苦労話などを聞くことができます。下記「お問い合わせ先」をお願いいたしま
す。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業（旧青年就農給付金）を活用できます。

◆神戸市の農業地域 （西区・北区）



【お問い合わせ先】

神戸市経済観光局 農政部 計画課 計画係
(神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市役所1号館8階)
電話 078-322-5351

【ホームページ】

<http://www.city.kobe.lg.jp/business/promotion/industry/index.html>

堺市

堺市産業振興局農政部農水産課
〒590-0078
大阪府堺市堺区南瓦町3-1
☎072-233-1101(代表)

堺市は、大阪府の南部に位置し、府内で人口・面積ともに第2の都市です。市街地周辺に農地が多くあり、生産品目は軟弱野菜の施設栽培を中心に、野菜、畜産など消費地に近い有利な状況を生かした様々な農業経営が行われ、農業産出額は大阪府内で1位を誇っています。

堺市では、新規就農者支援相談窓口を設置し、農業技術・経営指導等に実績のある相談員が、本市で本格的な就農をめざす方に対して、面談等により疑問・問題にお答えし、相談内容に応じて就農に向けた段階的な支援を行っています。

◆堺市の農業

平地では、主に野菜や水稻、南部の山間地では温州みかんが生産されています。水稻は自家消費が中心です。野菜は軟弱野菜の施設栽培が中心で、コマツナ、シュンギク、ハウレンソウなどが栽培されています。また、施設ではトマトなどの果菜類の生産も盛んです。露地ではネギ、タマネギ、キャベツ、ブロッコリーなど様々な品目が栽培されています。果樹は温州ミカンが生産されミカン狩り園など観光農業にも力を入れています。畜産は酪農が中心に行われています。

◆新規就農相談窓口

年度	人数
H24	9
H25	3
H26	10
H27	7
H28	4

相談窓口からの新規就農者数

面談をおこない、堺市内での本格的な就農に向けて、農業技術がない方には技術習得の場を紹介するなどします。また技術はあるが農地がない方には農地を斡旋し、農地の利用権を取得する手続きを行います。

就農後も補助金による農業用機械・設備の整備や、技術・経営の相談をお受けします。

◆補助事業の概要

農業次世代人材投資事業（旧 青年就農給付金）、青年等就農資金のほか、新規就農者が行う機械・施設の整備を支援する堺ファーマー支援事業（新規就農者支援事業）があります。

堺市産業振興局農政部農水産課

【お問い合わせ先】

電話 072-228-6971 (直)
メール nosui@city.sakai.lg.jp



関西広域連合 就農促進サイト
<https://www.kouiki-kansai.jp/contents.php?id=2487>

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



関西広域連合 林業就業ガイド

この「林業就業ガイド」では、関西広域連合域内の林業の状況、実施されている就業相談会の開催情報や就業研修制度などの就業支援情報を集約しました。

関西での就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

目 次

滋賀県	・・・・・・・・	1
京都府	・・・・・・・・	3
大阪府	・・・・・・・・	5
兵庫県	・・・・・・・・	7
和歌山県	・・・・・・・・	9
鳥取県	・・・・・・・・	11
徳島県	・・・・・・・・	13
京都市	・・・・・・・・	15



平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 林政課

滋賀県

滋賀県琵琶湖環境部
森林政策課
〒520-8577
滋賀県大津市京町四丁目1-1
☎077-528-3918（直通）

滋賀県は、母なる湖「琵琶湖」を中心に、県土の約半分を占める森林や、そこから広がる平野と河川により、多様で豊かな自然環境を有しています。

また、森林は、琵琶湖の豊かな水を育むとともに、琵琶湖と一体となって四季折々の風景をつくりだしています。

滋賀県では、琵琶湖の水源となっている森林の仕事に就きたいと考えられておられる方々のため、林業相談会や研修会を行っています。



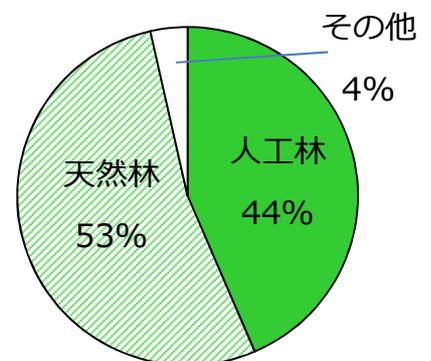
◆ 滋賀県の林業

滋賀県の森林のうち91%が民有林であり、民有林のうち約44%がスギやヒノキの人工林です。

人工林の資源は充実してきており、森林の循環利用（植える→育てる→使う→植える）を進めています。

また、安全で、効率的な作業のため、高性能林業機械による間伐材の生産に取り組んでいます。

民有林面積内訳

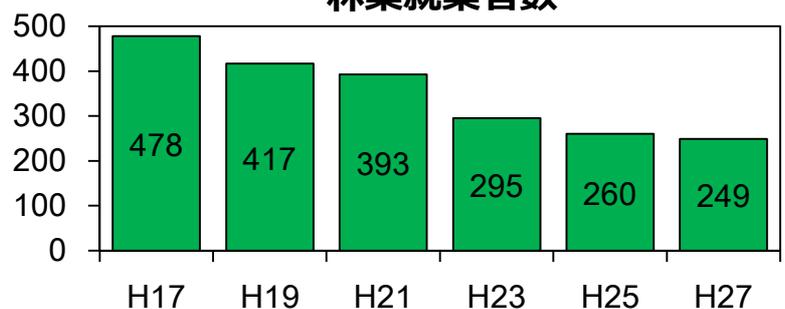


◆ 林業就業者の状況

○ 林業就業者数の推移

林業就業者数は漸減傾向にあります。50歳未満の就業者の割合は増加し若返りの傾向にあります。

林業就業者数



(単位：人 資料：滋賀県業務資料)

◆林業就業相談会等

名称	日時	場所
農林水産業就業フェア (林業相談ブース設置)	平成29年6月17日	キャンパスプラザ京都 京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
森の仕事ガイダンス2018 (大阪会場)	平成30年2月3日	大阪マーチャンダイズ・マート 大阪府大阪市中央区大手前1-7-31

相談窓口：滋賀県林業労働力確保支援センター

◆林業就業研修制度

○林業就業支援講習

新たに林業への就業を希望する方を対象に、4日間の林業の基礎的な学習や林業の実施講習、林業関係施設等の見学を行なうとともに、林業事業者の方との意見交換や就業・生活相談などを通じて、林業に対する関心や認識をより一層深めていただくなど、林業就業希望者への支援を図るための講習を開催しています。

名称	日時	実施主体
林業就業支援講習(4日コース) (林業体験からスタート)	平成29年9月27日～平成29年9月30日	滋賀県林業労働力確保支援センター

○「緑の雇用」現場技能者育成推進事業（実施主体：滋賀県森林組合連合会）

新たに林業への就業を希望する方を対象にトライアル雇用（3か月程度のOJT）を実施しています。

また、森林組合や民間林業事業体に雇用された新規就業者の育成のため、林業に必要な知識や技術に関する研修を実施しています。



高性能林業機械（ハーベスタ）による造材作業

【お問い合わせ先】

滋賀県琵琶湖環境部森林政策課 ☎077-528-3918
 滋賀県林業労働力確保支援センター ☎077-522-0307
 滋賀県森林組合連合会 ☎077-522-4658

京都府

京都府農林水産部
林務課

〒602-8570

京都府京都市上京区下立売通新町西入
藪ノ内町

☎075-414-5018（直通）

京都府は、長い歴史と伝統に育まれた文化や観光業をはじめ多様な産業に恵まれています。林業においても社寺建築や町家、茶の湯文化とともに古くから木材を使い、森を育て、森と木の文化を発展させてきました。

京都府では、林業に就きたいと考える方へ向けた林業大学校をはじめとする関係機関で各種研修を行い、新たに林業に携わる方へ就業支援を行っています。また、就業相談については（公財）京都府林業労働支援センターが随時行っております。



◆京都府の林業

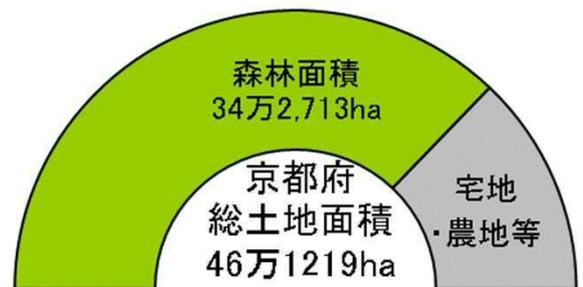
京都府は府域の74%を森林が占め、そのうち国有林を除く民有林が98%と高い割合を占めています。資源が充実し、民有林の人工林面積の68%が利用期を迎えています。

このような森林の機能を増進させるため、平成28年度から「豊かな森を育てる府民税」を活用し、森林整備保全や循環利用の取組を進めています。

そして、平成24年に**京都府立林業大学校**を開校し、森林・林業の基礎から経営管理までの教育により、即戦力となる林業の担い手を育成しています。大学卒業生の就職率は100%となっています。

まだまだ林業の担い手が不足しています。京都府の森林を守り育てる人材を募集しています。

京都府森林面積



◆林業就業者の状況

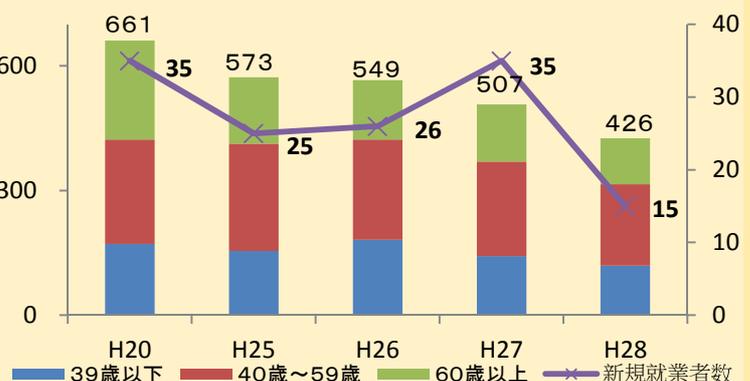
○林業新規就業者数の推移

新規就業者は減少傾向にあります。

○林業労働者の推移

林業労働者数も減少傾向にあります。年齢構成は39歳以下、60歳以上ともに約30%で推移しています。

林業労働者と新規就業者数



◆林業就業相談会等

○林業就業相談会

名称	日時	場所
林業就業相談会	平成29年6月23日(終了)	新大阪 メルパルク大阪
京都府農林漁業就業相談会	平成30年 3月 4日(予定)	ルビノ京都堀川(予定)
森林の仕事ガイダンス	平成29年11月26日(日)	東京国際フォーラム
	平成30年 1月27日(土)	品川インターシティホール
	平成30年 2月 3日(土)	大阪マーチャンダイズ・マート

※いずれも参加希望の場合は(公財)京都府林業労働支援センターまでお問い合わせください

◆林業就業研修制度

○京都府林業労働支援センター

林業就業支援講習(20日コース)	平成29年6月5日～平成29年6月23日 (29年度終了・次年度開催時期未定)	京都市中京区西ノ京樋ノ口町123
------------------	--	------------------

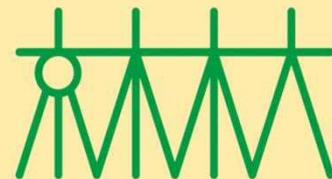
※実施主体:(公財)京都府林業労働支援センター

○京都府立林業大学校(森林林業科 林業専攻・森林公共人材専攻)

修学期間 2年(定員20名)

- 実践的な技術・知識を身につけて第一線で活躍できる人材
- 森林保全活動から野生鳥獣害対策まで幅広い地域活動を支える公共人材
- 森林組合等林業事業体の経営力の向上を支える人材の育成を目指します。

今年度入試予定



推薦入学試験	出願期間	平成29年 9月27日(水) ～10月18日(水)	
	実施日	平成29年11月 8日(水)	
	合格発表	平成29年11月15日(水)	
一般入学試験	前期	出願期間	平成29年11月22日(水) ～12月13日(水)
		実施日	平成30年 1月10日(水)
		合格発表	平成30年 1月17日(水)
	後期	出願期間	平成30年 1月24日(水) ～ 2月14日(水)
		実施日	平成30年 2月28日(水)
		合格発表	平成30年 3月 7日(水)

【お問い合わせ先】

京都府農林水産部林務課
京都府立林業大学校
(公財)京都府林業労働支援センター

☎075-414-5018

☎0771-84-2401

☎075-821-9277

大阪府

大阪府環境農林水産部
みどり推進室森づくり課
森林支援グループ
〒559-8555
大阪府大阪市住之江区南港北1-14-16
☎06-6210-9556（直通）

大阪府の森林は、府域の約3割を占め、北から北摂、金剛生駒、和泉葛城の三山系からなり、都市化が進んだ大阪平野を取り巻く形で位置しています。

大阪府では、林業就業希望者のための林業就業相談や林業の基礎知識に関する講習会、林業技術者を養成するための研修の実施等就業に向けてのサポートを行っています。

◆大阪府の林業

大阪府の森林の98%を民有林が占め、その内の約9割が私有林となっています。

人工林率は49%となっており、スギやヒノキの人工林が本格的な利用期を迎えています。豊富な森林資源を有効に活用し、循環的な利用を推進することにより、土砂防止、貯水機能等の森林の持つ公益的機能を向上させていくことが重要となっており、そのためには、さらなる林業の担い手の確保が必要となります。

◆林業就業者の状況

大阪府の林業就業者は高齢化が進むとともに、減少傾向にあります。安定的な労働力確保に向けて、大阪府林業労働力確保支援センター等と連携して、雇用環境の改善や新規就業者の確保に努めています。

◆ 林業就業相談会等

【大阪府林業労働力確保支援センターでの就業相談】

林業への就業を希望する方への就業に向けた個別相談及び求人情報等の提供を行っています。（電話にて随時相談可）

【森林の仕事ガイダンス】

参加都道府県の林業労働力確保支援センターや森林組合連合会が相談ブースを設け、森林・林業に関心を持つ方を対象に林業作業の内容や就業までの流れについて説明、参加者からの相談に応じます。

（大阪会場）

大阪マーチャンダイズ・マート

大阪市中央区大手前1-7-31

平成30年2月3日（土）13:00～17:00（最終入場16:30）

◆ 林業就業講習制度

林業への就業を希望する方を対象に、以下の講習を実施しています。

（実施時期及び申込については、大阪府林業労働力確保支援センターにお問い合わせください。）

【林業就業支援講習】

15日間程度の林業について基礎知識講習を行うとともに、作業体験、職場見学を実施しています。

就業に必要な知識や資格を取得し、円滑な就職が行えるように支援しています。

【お問い合わせ先】

大阪府環境農林水産部みどり推進室森づくり課森林支援グループ

☎06-6210-9556（直通）

大阪府林業労働力確保支援センター

☎06-6538-7524

兵庫県

兵庫県農政環境部
農林水産局林務課
〒650-8567

兵庫県神戸市中央区下山手通5-10-1
☎078-362-3161（直通）

兵庫県は、「日本の縮図」ともいわれるように、北は日本海、南は瀬戸内海、太平洋に面し、中央部には中国山地が東西に横たわり、多様な自然環境を有しています。県南部には、神戸、阪神、播磨の大都市地域、中部・北部には豊富な森林資源が存在しており、木材の産地と消費地が近接している林業に有利な地域となっています。

兵庫県では、新しく林業に就業を希望される方に対して、就業相談や林業の内容を知るための体験ツアー、林業に必要な資格を取得する講習会を実施するとともに、新規就業者に対して技術面や資金面において様々な支援を行っています。



◆兵庫県の林業

兵庫県の森林のうち95%が民有林であり、面積は531千haで全国第8位となっています。

民有林の42%（221千ha）をスギ、ヒノキ等の人工林が占めており、そのうち、伐採して利用が可能とされる46年生以上の森林が69%を占めています。このように兵庫県の森林資源は成熟が進み、利用期を迎えています。

人工林の齢級別の面積 (林齢)



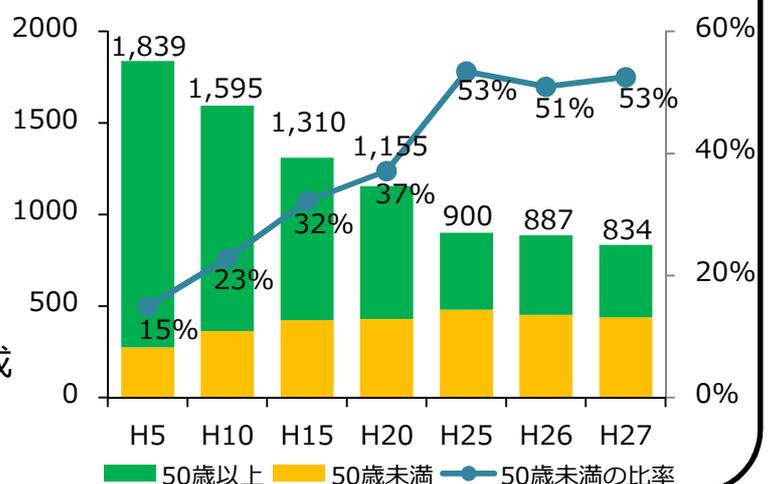
◆林業労働者の状況

○林業労働者数の推移

林業労働者数は、平成27年度末現在834人で、減少傾向にあります。

一方、50歳未満の労働者数は、平成5年度の276人から平成27年度には438人へと増加し、年齢構成が若返ってきています。

林業労働者と50歳未満の割合の推移



◆林業就業相談会等

(公財)兵庫県営林緑化労働基金では、専門の指導員が常駐し、新しく林業に就業を希望される方への情報提供や相談に対応しています。また、「森林の仕事ガイダンス」大阪会場に相談ブースを出展する予定です。



名称	日時	場所
森林の仕事ガイダンス	平成30年2月3日	大阪マーチャンダイズ・マート(大阪市)

◆林業就業研修制度

○林業就業支援講習

林業に関する基本知識、林業体験、現地見学を行うとともに、個別の就職・生活相談を実施することで、就業するために必要な知識や資格を身につけることができます。



名称	日時	場所
林業就業支援講習(1日コース)	平成29年9月30日	県内素材生産現場ほか
林業就業支援講習(12日コース)	平成29年10月10日～平成29年10月25日 (土・日・祝日を除く)	兵庫県土地改良会館(神戸市)ほか

実施主体：(公財)兵庫県営林緑化労働基金(林業労働力確保支援センター)

○兵庫県立森林大学校

専攻科(修業年限：2年、学年定員：20名)

- ①森林林業の即戦力・次代のリーダーとなる人材の養成を目指します。
- ②4年生大学への3年次編入学受験資格の取得が可能な専修学校です。



区分	募集人員	願書受付	試験日
推薦入試(学校推薦)	定員の半数程度	平成29年10月10日(火)から 平成29年10月27日(金)まで	平成29年11月10日(金)
一般入試(第1回)	定員の半数程度	平成29年11月13日(月)から 平成29年12月1日(金)まで	平成29年12月15日(金)
推薦入試	事業体推薦	若干名	平成30年2月19日(月)から 平成30年3月2日(金)まで
	自己推薦		
一般入試(第2回)			平成30年3月16日(金)

【お問い合わせ先】

(公財)兵庫県営林緑化労働基金(兵庫県林業労働力確保支援センター)

☎078-361-8010

兵庫県立森林大学校

☎0790-72-2700

兵庫県農政環境部農林水産局林務課

☎078-341-7711

和歌山県

和歌山県農林水産部
森林・林業局林業振興課
〒640-8585
和歌山県和歌山市小松原通1-1
☎073-441-2960（直通）

紀南地方の照葉樹林をはじめ、「木の国」と呼ばれるにふさわしい広大な森林渓谷に恵まれた和歌山県。熊野古道等周辺の森林は、古くから紀伊山地で営まれてきた暮らしや信仰が形づくった「文化的景観」として世界遺産の指定を受けており、その複雑多彩な森林は人々の暮らしとの関わりのなかで、その姿を残してきました。また、急峻な山々に多大な努力により植栽されたスギやヒノキは、森林の生育に適した温暖多雨な気候も相まって、大きく育ち、伐採期を迎えています。

和歌山県では、平成29年4月に**農林大学校林業研修部を開講**するとともに、林業に関する各種相談や体験研修会なども実施しており、これから林業に関わり、先人から受け継いできた森林を循環利用し、後生に繋いでいこうと志を持った方を応援しています。

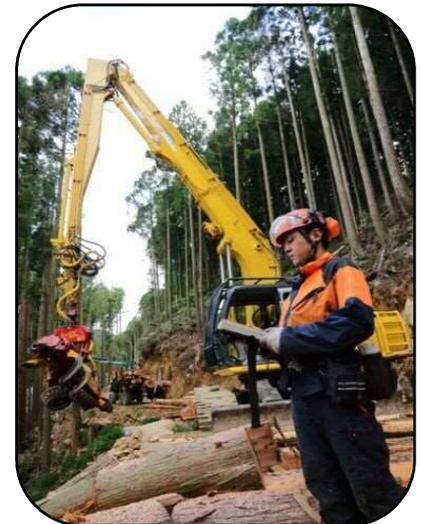


◆和歌山県の林業

古くから木材の生産も盛んで優良材を生み出す林業として位置づけられてきました。

戦後、植栽されたスギやヒノキの人工林資源は充実し、また、近年国産材需要が高まっていることから、県では、今後5年間で約8万立米を増産する計画を策定し、「新・紀州林業への挑戦」をスタートしたところです。

ぜひ、私たちと新・紀州林業を始めてみませんか。



◆林業就業者の状況

○林業就業者数の推移

林業就業者数は漸減傾向にありますが、ここ数年は増加傾向にあります。林業就業者のうち60歳以上の占める割合は、30%前後で推移しています。

林業就業者数



◆林業就業相談会等

○林業就業相談会

名称	日時	場所
林業就業相談会	平成29年11月12日	上富田町商工会 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763
森の仕事ガイダンスin和歌山	平成30年2月上旬予定	未定

実施主体：わかやま林業労働力確保支援センター

◆林業就業研修制度

○林業就業支援講習

林業に関する基本知識、林業体験、職場見学を行うとともに、個別の就職・生活相談を実施することで、就業するために必要な知識や資格を身につけることができます（受講料無料、宿泊費補助あり）。

名称	日時	場所
林業就業支援講習(1日コース)	平成29年5月27日	わかやま林業労働力確保支援センター 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1504-1
林業就業支援講習(4日コース)	平成29年8月1日～平成29年8月4日	わかやま林業労働力確保支援センター 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1504-1
林業就業支援講習(15日コース)	平成29年10月25日～平成29年11月15日 (土・日・祝日を除く)	わかやま林業労働力確保支援センター 和歌山県西牟婁郡上富田町生馬1504-1

実施主体：わかやま林業労働力確保支援センター

○和歌山県農林大学校林業研修部林業経営コース
経営学の基礎を身につけ将来林業経営を担える人材、実践的な技術や知識を身につけて第一線で活躍出来る人材、多面的でかつ幅広い視野を持った人材を育成しています。

修業年限 1年間 定員 10名

前期選考	申込期間	平成29年10月16日(月) ～平成29年10月30日(月)
	試験日	平成29年11月11日(土)
後期選考	申込期間	平成30年 1月15日(月) ～平成30年 1月29日(月)
	試験日	平成30年 2月10日(土)
追加選考	申込期間	平成30年 2月26日(月) ～平成30年 3月12日(月)
	試験日	平成30年 3月17日(土)



【お問い合わせ先】

和歌山県農林水産部林業振興課
和歌山県農林大学校林業研修部
わかやま林業労働力確保支援センター

☎073-441-2960
☎0739-47-4141
☎0739-83-2022



キノピー

鳥取県

鳥取県農林水産部
 森林・林業振興局林政企画課
 〒680-0875
 鳥取県鳥取市東町1丁目220
 ☎0857-26-7300（直通）

鳥取県では、大径材生産で知られる智頭町や生産したスギが皇居の「豊明殿」の天井板にも使われている若桜町を中心とした古い歴史を持つ林業地である東部地域、昭和初期には「大山アカマツ」として近畿圏で高く評価された大山山麓のマツ林を有する中部地域、日野町、日南町を中心として戦後に造林が行われた新興林業地であり、古くはたたら製鉄のための薪炭材生産が盛んであった西部地域において、歴史に根差した林業が行われています。

本県では、新規就業支援や安全対策強化など、次世代の林業を担う若者を全力でサポートしています。I J Uターンで働く若い方も近年増えています。ぜひ鳥取の自然を満喫しながら一緒に働いてみませんか？



◆鳥取県の林業

➤丸太生産量10年で約2倍！山が動いている！

県土の74%を占める森林は、毎年70～80万m³程度森林蓄積が増加しています。

豊富な資源を背景として、施業地の団地化・路網整備・高性能林業機械の導入など、低コスト林業に向けた施策を展開してきた結果、丸太生産量は、**2006年の約13万m³から2016年には約27万m³と約2倍**に増加しています。

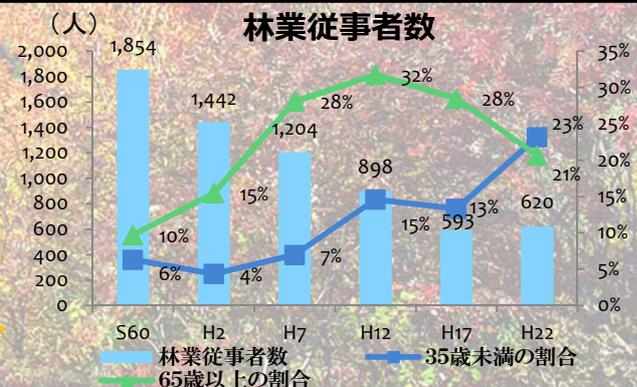
こうした取組が評価され、平成28年度には県内森林組合が天皇杯を受賞するなど、**鳥取県の山は今大きく動いています！！**



◆林業就業者の状況

➤若者にも人気！！

昭和60年以降年々減少していた林業従事者が、近年は、増加に転じています。また、若年率が上がり、高齢化率が下がるなど、**若い担い手が増えています。**



岡 元気(おか もとき)さん
 >兵庫県小野市からターン
 >鳥取県東部森林組合勤務



◀趣味のサーフィン

大学卒業後、企業に就職したが第一次産業への憧れがあり、自分のやりたいことができる時間と自分に合っている仕事＝林業ということで、林業への転職を決意。山で働きながら趣味のサーフィンを満喫。

若手も活躍！



◆ 林業就業相談会等

＜平成29年度に開催及び参加する就業相談イベント一覧＞

お気軽にご参加ください

名称	日時	場所
森林の仕事ガイダンス (東京会場)	平成30年1月27日 (土)	東京都港区港南2-15-4 品川インターシティホール
森林の仕事ガイダンス (大阪会場)	平成30年2月3日 (土)	大阪府中央区大手前1-7-31 大阪マーチャンダイズ・マート
森林の仕事ガイダンス (名古屋会場)	平成30年2月10日 (土)	名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋ホール&カンファレンス3F

※下記の「お問い合わせ先」でも、随時就業相談を受け付けております。

◆ 林業就業研修制度 (開催：鳥取東部地域)

林業就業に必要な基礎知識の講習や林業体験などを行っています。

受講料無料・実費負担のみ
(宿泊費助成あり!)

名称	日時	定員	募集期間
林業就業支援講習 (20日間コース)	平成29年11月13日 ～11月30日	10人程度	平成29年 8月8日～10月30日
林業体験研修 (2泊3日)	平成30年2月初旬	10人程度	2か月前ごろから 募集案内の予定

◆ 県の主な支援制度

▶ 新規就業への支援 (鳥取県版緑の雇用支援事業)

県内・県外の離職者や新規学卒者等を新たに雇用する林業事業者等に対し、林業技術・知識の習得を目指したOJT研修に要する経費を支援。(研修費161,100円/月、住居・通勤手当33,000円/月など)

▶ 労働安全衛生対策・技術習得への支援 (森林整備担い手育成総合対策事業)

- ・ 林業に必要な資格取得や安全衛生教育等の受講経費を支援。
- ・ チェーンソー防護衣、蜂防護服、林業用ヘルメットや救護資材(ペンライト、発煙筒など)等の購入に係る経費を支援。
- ・ オーストリアをモデルにチェーンソーの安全作業を徹底訓練できる「とっとり林業技術訓練センター(愛称:Gut Holz)」を整備し、研修を実施。



▲ 防護衣・林業用ヘルメット



▲ Gut Holz (外装・内装・各装置)

◎ オーストリア林業へのchallenge ◎

本県では、安全で効率的な林業を実践しているオーストリアをモデルとして様々な取組を実施しています。

オーストリアへの若手派遣
森林研修所からの講師招聘



オーストリア製架線機械の導入



【愛称:Gut Holz】

オーストリアから招聘したピヒル森林研修所のマルティン・クロンドルファー所長が、この施設に愛着を持って御提案頂いた言葉。オーストリアの林業関係者の間で「安全作業で木材を生産しよう」というスローガンで使われています。



【お問い合わせ先】

鳥取県農林水産部森林・林業振興局林政企画課 ☎0857-26-7300
(公財)鳥取県林業担い手育成財団 ☎0857-28-0123

徳島県

徳島県農林水産部
 林業戦略課新次元プロジェクト推進室
 〒770-8570
 徳島県徳島市万代町1丁目1番地
 ☎088-621-2457（直通）

県土の8割を山地が占める徳島県は、温暖多雨の気候と肥沃な森林土壌が相まって、四国山地の森林地帯では**全国屈指のスギの産地**となっています。

また、徳島県は「**木材消費県**」でもあります。製材工場や四国唯一の合板工場、全国でも珍しい国産材チップを原料とするMDF工場のほかバイオマス発電所が立地するなど、「**根元から梢**」まで**まるごと利用**できる体制が整っています。



◆徳島の林業

徳島県は森林総数の94%が民有林であり、その62%がスギやヒノキなどの人工林です。

特に**スギの人工林**が占める割合は43.3%と高く、**全国一位**を誇ります。この豊かな資源量を背景に、平成17年度から全国に先駆けて「列状間伐」と「高性能林業機械3点セット」を組み合わせた「**新間伐システム**」を導入し、徳島林業を再生するプロジェクトを開始！

平成27年度からは、10年後の県産材生産量の倍増と新規就業者を300人超とする戦略目標を掲げた「**新次元林業プロジェクト**」を推進しています。



新間伐システム

◆林業就業者の状況

平成17年度から取り組んできた数次の「林業プロジェクト」の結果、それまで減少の一途だった林業就業者数は平成22年に初めて増加！

平成27年も800人台をキープし、35歳未満の若者は132人と増加傾向で、**平均年齢は51.7歳**と若返りが進んでいます。



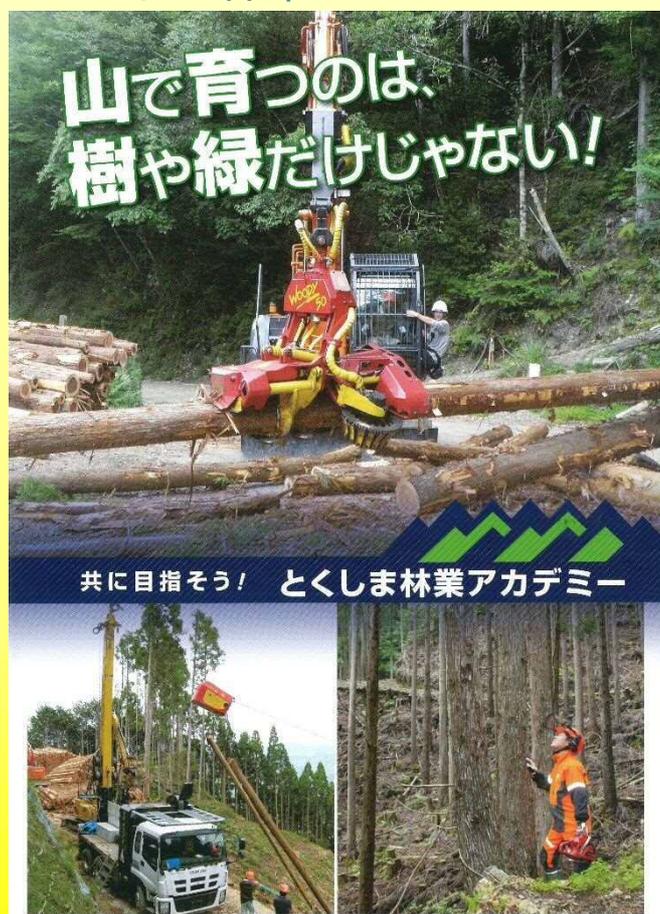
◆林業就業相談会等

名称	日時	場所
女性を対象とした林業体験	平成29年12月上旬	未定
森の仕事エリアガイダンス in 徳島	平成29年12月9日(土)	徳島グランヴィリオホテル
森の仕事ガイダンス 2017	平成30年1月27日(土)	東京 品川インターシティホール
森の仕事ガイダンス 2017	平成30年2月3日(土)	大阪マーチャングイズ・マートビル
林業体験 in とくしま	平成30年2月中旬	未定

実施者：徳島県林業労働力確保支援センター

◆林業就業研修制度 とくしま林業アカデミー

就職率100%の実績



当アカデミーは、徳島で林業に就業を希望する方に、必要な知識や実践的な技術の習得を通じて、林業の即戦力となる人材を育成する研修機関です。

- 年齢 18歳以上
- 研修料 無料
- 研修期間 1年間 土日・祝・盆・正月は休み
- 給付金 月額12.5万円(条件あり)

※詳しくは [とくしま林業アカデミー](#) を検索

◆募集人員 14名程度

◆募集期間

①12月募集

申込期間：2017/10/19(木)～12/11(月)

試験日：2017/12/17(日)

合格発表：2017/12/28(木)

②2月募集

申込期間：2017/12/12(火)～2018/2/9(金)

試験日：2018/2/18(日)

合格発表：2018/2/28(水)

3期生
募集中

【お問い合わせ先】

徳島県農林水産部林業戦略課新次元プロジェクト推進室 ☎088-621-2457

公益財団法人徳島県林業労働力確保支援センター ☎088-676-2200

とくしま林業アカデミー(公益社団法人徳島森林づくり推進機構)

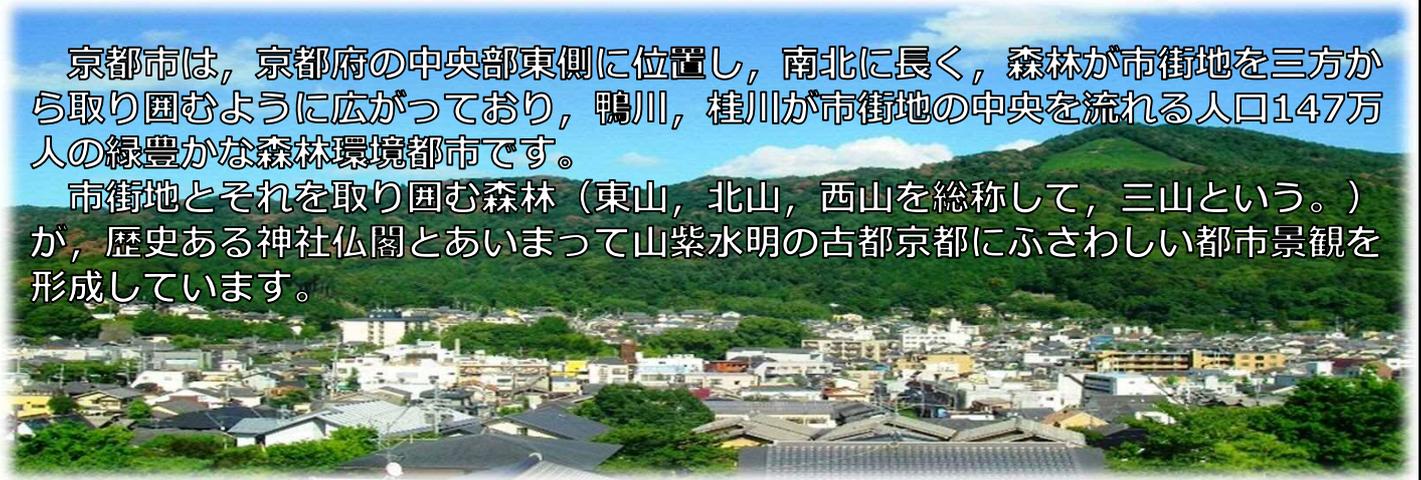
☎088-679-8558

京都市

京都市
産業観光局 農林振興室 林業振興課
〒604-8571
京都市中京区寺町御池通上る
上本能寺前町488
☎075-222-3346 (直通)

京都市は、京都府の中央部東側に位置し、南北に長く、森林が市街地を三方から取り囲むように広がっており、鴨川、桂川が市街地の中央を流れる人口147万人の緑豊かな森林環境都市です。

市街地とそれを取り囲む森林（東山、北山、西山を総称して、三山という。）が、歴史ある神社仏閣とあいまって山紫水明の古都京都にふさわしい都市景観を形成しています。



◆京都市の林業

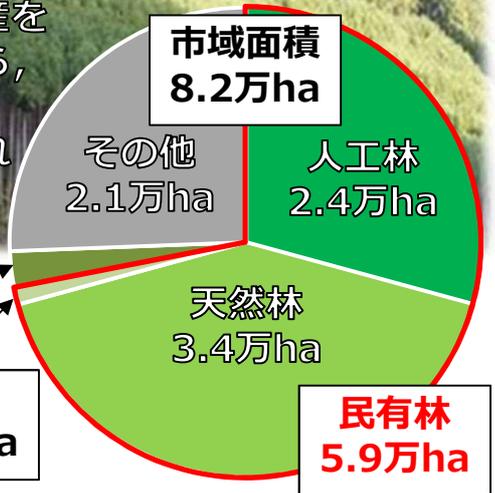
京都市の森林面積は約6.1万haで、市域面積の74%を占めています。このうち民有林は、(約5.9万ha) 97%で、その構成は、人工林(約2.4万ha) 41%、天然林(約3.4万ha) 58%、竹林等(約0.1万ha) 1%です。

京都市の森林は、一般用材や丸太仕立てスギ材生産を目的とした天然生を含むスギ、ヒノキ等の針葉樹から、広葉樹を含む豊かな天然林まで、地形、地質、土壌、気象等の地域特性に合った多様な森林づくりが行われるとともに、林地の保全が図られています。



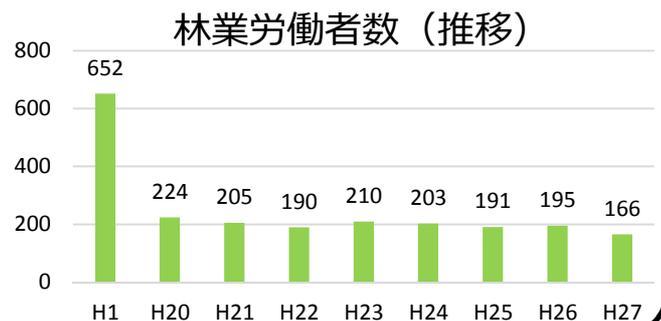
国有林
0.2万ha

竹林
0.1万ha



◆林業就業者の状況

- ・林業労働者数（平成27年度）166人
- ・木材価格の低迷や木材需要の低迷など、林業を取り巻く環境の悪化等により、平成元年に比べ、4分の1に減少
- ・京都独特の北山林業を取り巻く環境も非常に厳しく、担い手の減少が顕著



◆ 林業就業研修制度

～四季・彩りの森復活プロジェクト～

京都三山での懸念事項

森林景観の悪化

ナラ枯れ, マツ枯れ, シイ林の増加 など

土壌の流出

シカの食害により, 後継樹となる幼木が消失し, 裸地が増加

生物多様性の劣化

シカの好まないアセビやイワヒメワラビ等の植生が増加



ナラ枯れ枯死木



土壌の流出



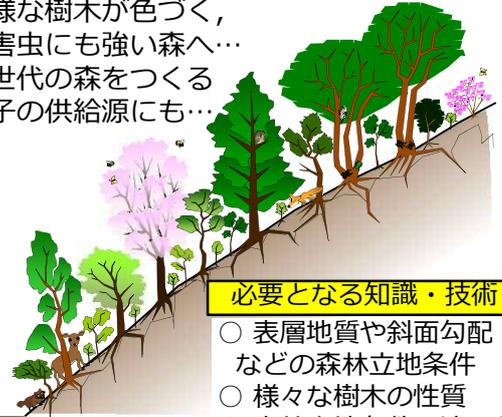
シイ林の増加



シカの食害

京都に相応しい価値ある森へ

多様な樹木が色づく, 病害虫にも強い森へ... 次世代の森をつくる 種子の供給源にも...



必要となる知識・技術

- 表層地質や斜面勾配などの森林立地条件
- 様々な樹木の性質
- 森林立地条件に適した植栽木の選定 等

健全で多様な価値を生み出す森林のため, 森づくりの技術をもつ人材の育成が必要

京の森づくり技術者育成講座の開催

根の張り方や形態などの樹木の性質, 造園技術, 地質学, 土壌微生物, 光条件など様々な知識を総合した森づくり技術「自然配植」を学ぶ講座を開催。

平成25年度から毎年数回実施中。

※ 講座では, 『自然と先人の知恵に学ぶ<京の森づくり>』等のテキストを使用

- (主な講座のタイトル)
 「自然配植技術について」
 「山の見方, 森林立地・土壌」
 「防鹿対策と植栽技術」
 「斜面防災と景観への配慮」
 など

平成28年度
 6回開催 参加者延べ356名



講座開催の様子



現地研修箇所



テキスト

～京都市内産木材搬出支援～

森林組合等が行う, 木材を安定的かつ安価に供給するための新技術取得等, 担い手の育成に資する取組(作業システムの改善, オペレーター訓練等)に対して支援

(補助率3/4 (上限1,500千円))



【お問い合わせ先】

京都市産業観光局農林振興室林業振興課
 京北農林業振興センター (右京区京北地域)

☎075-222-3346

☎075-852-1817

関西広域連合 漁業就業ガイド

関西広域連合の域内では、それぞれの自然・社会環境に応じた漁業が展開されており、多様な水域から豊富な水産物が漁獲されています。

この「漁業就業ガイド」では、関西広域連合域内における漁業に関する新規就業者の状況や新規就業支援制度などを集約しました。関西での漁業への就業を目指している皆さんの「道しるべ」としてご活用いただければ幸いです。

目次

滋賀県	1
京都府	3
大阪府	5
兵庫県	7
和歌山県	9
鳥取県	11
徳島県	13



平成29年度版
関西広域連合 広域産業振興局
農林水産部 水産課

滋賀県

滋賀県農政水産部
水産課

〒521-8577

滋賀県大津市京町四丁目1-1

☎077-528-3873(直通)

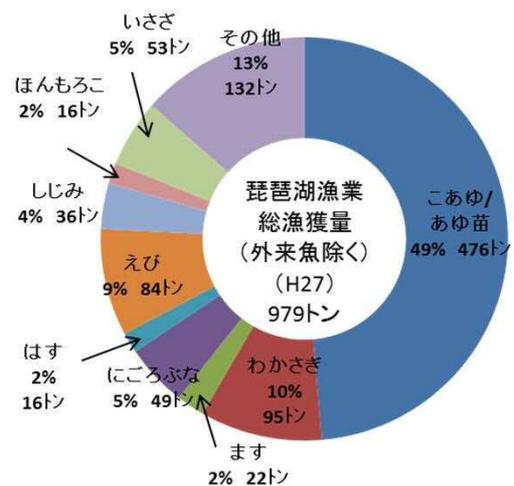
◆滋賀県の漁業

滋賀県は、県の面積の1/6 を占める琵琶湖を県土の中心に擁しており、周囲の1,000m級の山々から流れ出す大小460本の河川が、琵琶湖に注ぎ込んでいます。

琵琶湖は日本最大の湖であるだけでなく、世界有数の古代湖でもあり、魚類や貝類、水草など50 種以上の固有種を含む約1千種の生物が生息し、豊かな生態系を有しています。

このため、琵琶湖周辺では有史以前から人々の暮らしが営まれ、「えり」や「やな」など独特の漁業が発展し、鮒ずしをはじめとする滋賀県独自の食文化が受け継がれてきました。

琵琶湖における平成27年の漁獲量の内訳をみると、アユ（鮮魚流通用、養殖・放流種苗用）の漁獲量が最も多く476トンで、全体の約49%を占めています。次にワカサギ95トン、エビ類84トン、イサザ53トン、ニゴロブナ49トンと続き、これらの5魚種で漁獲量の約8割を占めています。



H27年琵琶湖漁業の総漁獲量（外来魚を除く）

◆新規就業者の状況

琵琶湖で営まれる漁業は、ほぼ全てが自営漁業となっており、えり漁業（小型定置網）のほか、小型機船底びき網（手繰第1種、3種）、刺網などの漁船漁業が中心となっています。

このため、新規で漁業への就業を希望する場合は、県内の漁業協同組合で研修を受けるなど、個別に漁労技術を習得するとともに、漁船や漁具などの装備を自ら入手する必要があります。

◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、漁労技術の習得や設備取得にかかる資金など、初期の段階から定着、経営安定に至るまで課題が多いのが現状です。

漁業への就業を検討する場合には、漁労技術の習得だけでなく、漁業経営に関する的確な計画を立てることが必要です。

このため、実際に漁業を営んでいる先輩漁業者から漁業に関する様々な情報を入手できるよう、短期の体験研修などの取り組みを進めています。

○体験研修（滋賀県独自事業：しがの漁業担い手確保事業）

- ・普段目にすることの無い漁労作業を実際に体験することで、就業を具体的に検討する機会を提供します。（最大5日間）

○中期研修（滋賀県独自事業：しがの漁業担い手確保事業）

- ・指導する漁業者が、研修生を日々雇用者として雇入れ、基礎的な漁労の技術や漁村地域の行事等について指導する研修を支援します。（最大6カ月間）

○長期研修（国事業：新規漁業就業者総合支援事業）

- ・指導する漁業者が、漁業に就業する意思を固めた研修生を従事者として雇入れ、本格的な漁労技術を指導する長期研修を支援します。（独立型：最長3年間）

上記について、詳しい情報や相談を受け付ける相談窓口を設置しています。相談窓口では、琵琶湖漁業の魅力や研修生募集などの情報を提供するWEBサイトを開設しています。当サイトでは、琵琶湖漁業の漁法や対象魚種のほか、研修受講の流れや漁村で使われる言葉などの情報を掲載しています。

※上記支援制度等には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、内容については下記窓口までお問い合わせ下さい。

◆就業相談窓口

琵琶湖の漁業と就業に関するお問い合わせは、下記センターまでお願いします。

しがの漁業技術研修センター

〒520-0801 大津市におの浜4丁目4-23（滋賀県漁業協同組合連合会内）

☎077-524-2418（代表）

琵琶湖の漁師になる で

京都府

京都府農林水産部
水産課

〒600-8570 京都市上京区
下立売通新町西入藪ノ内町
☎075-414-4994(直通)

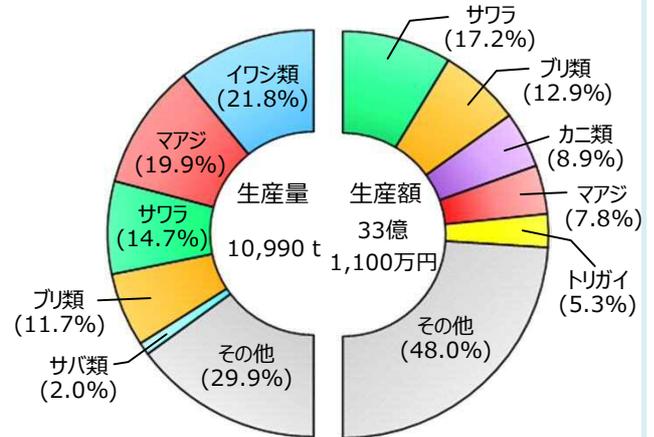
◆京都府の漁業

京都府は、穏やかな若狭湾と対馬暖流の影響を受ける日本海に面しているため、府内漁場では、暖流に乗って来遊してくる暖海性のサワラやマグロなどの浮魚類、日本海固有水(冷水)で生活するズワイガニやカレイ類等の底魚類、山や里から運ばれてくる栄養塩によって支えられている沿岸性のアワビやトリガイなど多種多様な魚介類が生息し、四季を通じて様々な漁業が営まれています。

平成11年頃から、日本海に来遊するサワラが増えましたが、それに伴い京都府の漁獲量も全国1位に急増し、サワラは京都府にとって大変重要な魚種になっています。

漁業については、生産量、生産額とも大型定置網の比率が高く、生産量の約8割、生産額の約6割を占めています。その他、ズワイガニ、アカガレイ等を対象とした、沖合・小型底びき網漁業。「丹後ぐじ」等を対象とした釣・はえ縄漁業などが営まれています。

養殖業については、トリガイを始めとする二枚貝類や海藻類の生産に適した内湾漁場に恵まれた地の利を生かして、他府県より優れたものを生産しています。



魚種別生産高 (平成27・京都府水産事務所調べ)

京都府の冬の
味覚の王様
ズワイガニ



漁獲量が急増
↑ ↑ ↑
サワラ



大型定置網で活躍する
研修修了生(中央)



海の民学舎生
トリガイ養殖実習

◆新規就業者の状況

京都府では、毎年約50名の方が新たに漁業へ就業されています。府外からの新規就業については、定置網、底びき網などの雇用型漁業が中心です。

参考(平成28年度実績)

- ・新規就業者数 56名(うち漁家子弟以外 35名)
- ・年齢構成 10~20代: 9名、30~40代: 15名、50代以上: 32名
- ・漁業種類 定置網、底びき網、一本釣、採介藻、貝類養殖など

◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、技術習得や設備投資など、初期段階での課題が多いため、海の民学舎をはじめとする様々な支援制度を活用することにより、スムーズな就業につなげていきます。

1 海の民学舎

H30年度第4期生募集中、H29.12.15まで

① 海の民学舎とは

将来の漁業や漁村を支える人材を「海の民」と位置づけ、これら「海の民」を育成するため漁業団体と沿海市町、府が共同で運営する学びの場です。

学舎では、就業を希望する者が体系的に漁業者としての基本的な知識・スキルを身につける場、若手・中堅漁業者が経営力アップのため切磋琢磨できる実践的な研修の場を提供します。

研修風景

講義



実習(はえ縄漁具づくり)

専門スタッフ、漁業者等が、丁寧に教えます(初心者でも安心)

② 運営体制

漁業団体(漁協、信漁連)、沿海市町、府による「海の民学舎運営協議会」が運営(事務局は京都府水産事務所内に設置。専属職員を漁協が配置)

③ 内 容 新規就業者講座 10名/年

各種漁業について実践的な研修を実施、新規就業者の技術習得を支援

1年目：漁業制度や漁村生活等の講座基礎、漁具作成等の実習基礎、定置網、養殖など府内主要漁業現場での実践的な研修

次世代人材投資事業(最大150万円/年)を活用

2年目：漁村に移住し、キャップストーン研修として希望する漁業現場で長期研修

受入事業体と学舎が連携し、一体となって実習をサポート！！

2 長期研修支援制度

・漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援(雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間)

3 漁船等リース事業

・漁協が新規就業者(組合員)とリース契約を締結、その中古漁船等を漁協が取得、整備する費用の一部を府・市町が補助

4 融資制度(沿岸漁業改善資金)

・漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資

上記のほか、空き家の改修経費を支援する制度もあります。

府内市町による独自の支援制度があります。

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがあります。

◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

京都府 海の民学舎(京都府水産事務所内 海の民学舎担当)

〒626-0052 京都府宮津市字小田宿野1092-3

☎0772-25-3030(直通)

海の民学舎.com 検索

大阪府

大阪府環境農林水産部
水産課
〒559-8555
大阪府住之江区南港北1-14-16
☎06-6210-9612(直通)

◆大阪府の漁業

大阪湾は古くから「茅渚（ちぬ）の海」と呼ばれ、海の栄養分が多いことから魚介類が豊富でさまざまな漁業が盛んに営まれてきました。

現在も多様な魚介類が水揚げされており、大消費地に位置するという立地条件を活かした都市型の漁業が活発に行われています。



まき網漁業の様子



大阪湾で漁獲される魚は、マイワシやカタクチワシなど多獲性のものや、茅渚の語源であるクロダイ（ちぬ）、春を告げる魚として親しまれるサワラ、大阪の食文化には欠かすことのできないハモ、大阪のブランドとして知られる泉だこ（マダコ）、高級魚として定評があるキジハタ（アコウ）など種類が豊富です。かつて天下の台所とされ、今日「食いだおれの街」と呼ばれる大阪の食文化とも密接に関わっています。

大阪府の漁業者のうち、若年層（15歳～40歳）の割合は20.1%と全国平均の16.9%を上回っており、若く活気のある漁業が営まれています。また、都市近郊で余暇や生活環境にもすぐれ、全国的にも注目されています。

◆新規就業者の状況

大阪府において28年度に新規で就業された方は38名と過去5年間の中で最高となっています。

○平成28年度実績（参考）

新規就業者数：38名（内漁家子弟以外21名）

年齢構成：10～20代：19名

30～40代：18名

50代～：1名

◆新規就業支援制度

大阪府において以下の支援制度があります。

- 長期研修（新規漁業就業者総合支援事業）
漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援（雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間）。
- 融資制度（沿岸漁業改善資金）
漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資。

その他、府内市町村による独自の支援制度があります。

- 忠岡町：忠岡町レベルアップ支援補助金
忠岡町在住、町内事業所で勤務する方が国家資格（船舶操縦免許含む）等に合格した際に、経費の一部を補助する制度。
お問合せ先
忠岡町役場 産業振興課 0725-22-1122

- 岬町：岬町農・漁業新規就労者支援事業補助金
新たに町内で漁業及び農業に就労した転入者に家賃補助する制度。
お問合せ先
岬町総務部企画地方創生課 072-492-2775

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、
内容については下記窓口・もしくは各市町村までお問い合わせ下さい

◆就業相談窓口

お問い合わせは下記および各市町村にお願いいたします。

大阪府環境農林水産部水産課
〒559-8555
大阪府住之江区南港北1-14-16
☎06-6210-9612（直通）

兵庫県

兵庫県農政環境部
農林水産局水産課
〒650-8567
兵庫県神戸市中央区下山手通
5丁目10-1
☎078-362-3478(直通)

◆兵庫県の漁業

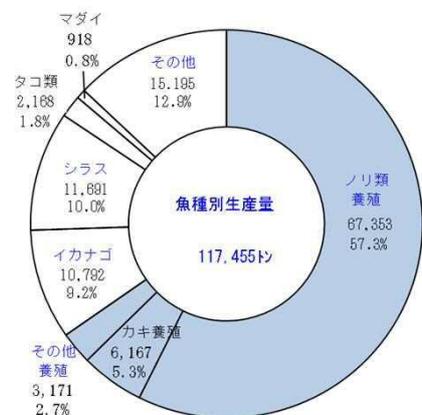
兵庫県は、自然条件が大きく異なる瀬戸内海と日本海に面しており、それぞれの海域で、その特性に合わせた漁業が営まれています。

平成27年の漁業生産金額は、448億円で全国10位に位置するとともに、生産量では、近畿6府県の約7割を占め、京阪神等に新鮮な魚介類を供給する生産基地になっています。

【瀬戸内海】

10トン未満の小型漁船を使った船びき網や小型底びき網、一本釣り、ノリやカキの養殖などの沿岸漁業が営まれています。

主要魚種のイカナゴ、シラス、養殖ノリの生産量は全国1位、スズキ類、タコ類の生産量は全国2位です。

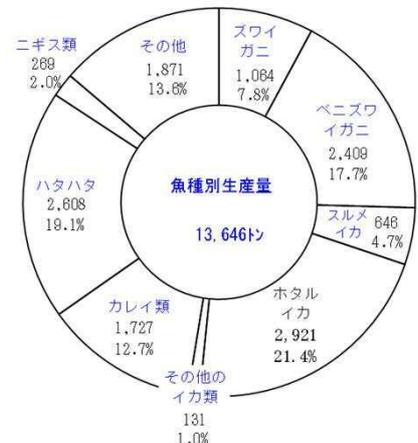


【日本海】

19~125トンの大型漁船を使った沖合漁業が主力で、沖合底びき網漁船数は全国最多の規模になっています。

主要魚種であるズワイガニ、ホタルイカ、ハタハタの生産量は、全国1位です。

また、沿岸では、イカ釣りや定置網などが営まれています。



◆新規就業者の状況

兵庫県では、毎年約50名の方が新たに漁業に就業されています。

漁家子弟外からの新規就業は、瀬戸内海では、船びき網、のり・かきの養殖業の手伝い、日本海では沖合漁業の船員として雇用される場合が多くなっています。

参考（平成28年度実績）

- 新規就業者数 59名（うち漁家子弟以外 41名）
- 年齢構成 ~20代：38名 30~40代：13名 50代~：5名
※未確認：3名
- 漁業種類 船びき網、ノリ養殖、カキ養殖、沖合底びき網 等

◆新規就業支援制度

新規就業者は技術習得、設備取得について、次の支援制度が利用できます。

なお、利用の際には、制度ごとに年齢など様々な要件が設定されています。詳しくは下記の相談窓口まで、お問合せください。

○ 技術習得（研修制度）

- 新規漁業就業者総合支援事業（国事業）
新規漁業就業者の漁業現場での長期研修を支援
- 沖合漁業船員育成・定着促進事業
日本海の沖合漁業に就業を希望する未経験者を対象に、沖合に出漁することの不安を解消するため、実際に乗船してもらう長期研修を支援

基礎的な技術の習得後には

- 漁業就業者ステップアップ研修支援事業
雇用就業からの独立や漁船漁業と養殖業の複合経営、6次産業化を目指す希望者に対する研修を支援

○ 設備取得 *※原則として、研修制度などで、一定の技術を習得した者が利用できる制度です*

- 沿岸漁業改善資金（青年漁業者等養成確保資金）
漁業の開始に必要な漁船、漁具などを購入する資金を無利子で融資
- 漁業施設貸与事業
漁業協同組合等に対し、新規就業者等に貸与するための漁船等の施設の整備に必要な経費を支援

◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記窓口までお願いします。

兵庫県漁業協同組合連合会 指導部
〒673-0883 明石市中崎1-2-3 （兵庫県水産会館内）
電話 078-940-8013 （直通）

和歌山県

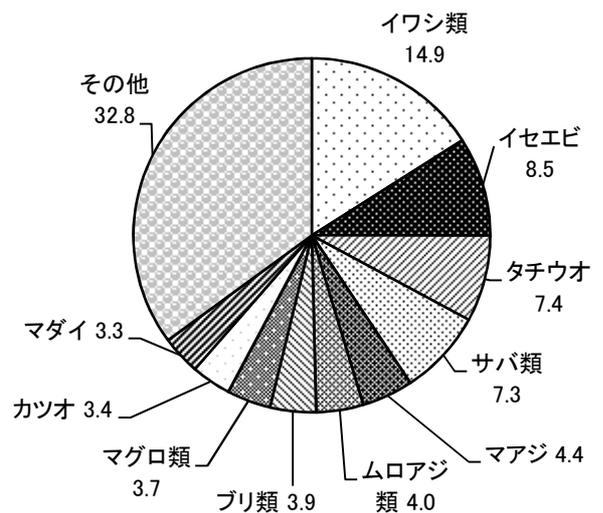
和歌山県農林水産部
水産局水産振興課
〒640-8585
和歌山県和歌山市小松原通1-1
☎073-441-3000(直通)

◆和歌山県の漁業

和歌山県は、比較的穏やかな内海性の瀬戸内海と黒潮の影響を強く受ける外洋性の太平洋に面しており、それぞれの海域特性に応じて様々な種類の漁業が営まれています。

和歌山県北部では、一本釣のほか、タチウオやエビ類等を対象とした底びき網、シラスやイカ類を対象とした船びき網などが、県中・南部では、アジ類やサバ類等を対象としたまき網、定置網、敷網、カツオやマグロ類等を対象としたひき縄釣、一本釣、イセエビや磯魚を対象とした刺網などが営まれています。また、養殖業については、海藻類などのほか、特に県南部ではマダイやクロマグロなどが多く生産されています。

和歌山県では、イワシ類（シラス等）、イセエビ、タチウオ、サバ類、マアジ、ムロアジ類などの水揚げが多く、中でもイセエビ、タチウオ、ムロアジ類は全国上位の産出額を誇ります。



和歌山県のH27海面漁業魚種別産出額(金額単位:億円)

◆新規就業者の状況

和歌山県では、毎年約40名の方が新たに漁業へ就業されています。県外からの新規就業については、底びき網、船びき網、まき網、定置網などの雇用型漁業が中心となっています。

参考(平成28年度実績)

- ・新規就業者数 31名(うち漁家子弟以外16名)
- ・年齢構成 10~20代:12名、30~40代:10名、50~60代:9名
- ・漁業種類 底びき網、船びき網、まき網、定置網、一本釣など

◆新規就業支援制度

漁業への新規就業にあたっては、技術習得や設備投資など、初期段階での課題が多いため、様々な支援制度を活用することにより、スムーズな就業に繋げていきます。

○長期研修（新規漁業就業者総合支援事業）

- ・ 漁業現場で働きながら、指導者から基礎的な漁労作業を学ぶことができる長期研修を支援（雇用型：最長1年間、独立型：最長3年間）

○融資制度（沿岸漁業改善資金）

- ・ 漁業経営を開始するための漁船や漁具等の購入資金を無利子で融資

上記の他、県外から移住して就業される方へは、以下の支援があります。

○移住者農林水産就業補助金

- ・ 漁業経営を開始するための漁業設備等の購入経費を支援

○若年移住者暮らし奨励金

- ・ 若年移住者の生活費の一部を支援

○空き家改修補助金

- ・ 空き家の改修経費を支援

その他、県内市町村による独自の支援制度があります。

○有田市

- ・ 小型船舶操縦士免許など資格取得に要する経費や家賃を支援

○田辺市

- ・ 短期（1～3日）の漁業就業体験を支援

○すさみ町

- ・ 漁船等の購入経費を支援

※上記支援制度には、年齢など他に要件が設定されているものがありますので、内容については下記窓口までお問い合わせ下さい。

◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記センターまでお願いします。

和歌山県漁業就業者確保育成センター

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1（和歌山県庁水産振興課内）

☎073-441-3000（直通）

和歌山 漁業就業 で 検索

鳥取県

鳥取県農林水産部
水産振興局水産課
〒680-8570
鳥取県鳥取市東町1丁目220番地
☎0857-26-7314(直通)

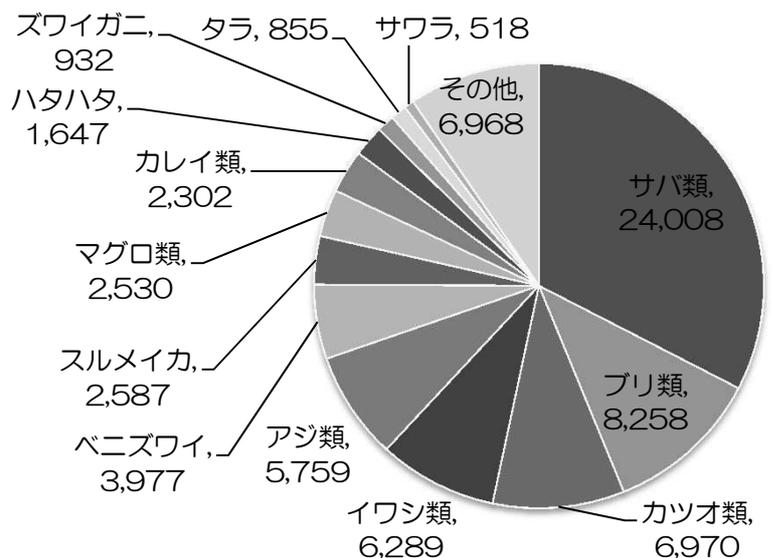
◆鳥取県の漁業

鳥取県の沿岸域は、鳥取砂丘に代表されるように砂浜域が多く、一部に大山の火山岩からなる天然礁があります。県西部には当県唯一の内湾である美保湾があり、いずれも好漁場となっています。

境漁港では、まき網で漁獲されたマグロ、アジ、イワシなどの浮魚や、かにかご漁業で漁獲されたベニズワイガニが水揚げされています。沖合底びき網漁業では、ズワイガニやカレイなどの底魚類を漁獲しており、鳥取港、網代漁港、境漁港に水揚げしています。

沿岸漁業では、小型底びき網、刺網、一本釣り、定置網などが各地で営まれています。また、養殖業については、海上でギンザケ養殖などが行われており、陸上ではキジハタ、ヒラメ、マサバなどが養殖されています。

鳥取県では、サバ、ブリ、イワシ、アジ類、ベニズワイガニ、クロマグロ、ズワイガニ、サワラ、などの水揚げが多く、中でも生のクロマグロ、ベニズワイガニは、全国1位の水揚量を誇ります。



海面漁業生産統計調査
平成27年鳥取県漁業・養殖業生産統計 (トン)

◆新規就業者の状況

鳥取県では、県内外から毎年約20名の方が大中型まき網、沖合底びき網、かにかご、定置網、養殖漁業などへ漁業従事者として就業されています(雇用型)。

また、雇用型とは別に、最長3年間の漁業研修を受けた沿岸漁業新規着業者が毎年数名誕生しています(独立型)。

参考(平成28年度実績)

- ・雇用型 21名
- ・独立型 2名(県研修1名、国研修1名)

◆漁業就業者確保対策事業

事業の目的

新規漁業就業者を確保するため、就業希望者の研修等に必要な経費に支援を行う。

漁業研修事業

雇用型研修

事業内容	漁業経営体等に漁船員等として雇用し、OJT研修を実施する経費に支援する。			
事業主体	鳥取県内の漁業協同組合、漁業組合、漁業経営体			
研修生	研修する漁業の未経験者、事業主体の代表者の3親等以内でない者			
研修期間	最長1年			
補助対象経費	指導経費	60,000円/月	研修手当	沖合漁業185,400円/月 沿岸・養殖漁業141,600円/月
	研修用具費	30,000円		
	船員手帳作成費	10,000円	赴任旅費	20,000円
	移住定住準備費	99,000円	住居・通勤手当	33,000円/月
補助率	【県】 指導経費以外 10/10		【市町村】 指導経費 1/2	

独立型研修

事業内容	独立操業を目指すための研修を実施する経費に支援する。			
事業主体	鳥取県内の漁業協同組合			
研修生	研修する漁業の未経験者（65歳未満）			
研修期間	最長3年（ただし、50歳以上65歳未満の者は最長1年）			
補助対象経費	指導経費	100,000円/月	研修手当	141,600円/月
	研修用具費	30,000円/年	技術習得費	210,000円
	赴任旅費	20,000円	移住定住準備費	99,000円
	住居・通勤手当	33,000円/月	※50歳以上65歳未満の者は指導経費のみ対象	
補助率	【県】 指導経費 1/2 指導経費以外 10/10		【市町村】 指導経費 1/3	

漁業経営開始円滑化事業

事業内容	新規就業者が漁業経営を開始する時に必要な漁船・機器・漁具を漁協が整備してリースする場合、その経費に支援する。 ※補助対象経費の上限額：2,500万円 ※リース期間：5年以上15年以内		
事業主体	漁業協同組合		
補助率	【県】 1/2	【市町村】 1/6	

◆就業相談窓口

鳥取県農林水産部水産振興局水産課漁業経営担当

電話 0857-26-7314 ファクシミリ 0857-26-8131

徳島県

徳島県農林水産部
水産振興課
〒770-8570
徳島県徳島市万代町1-1
☎088-621-2470(直通)

◆徳島県の漁業

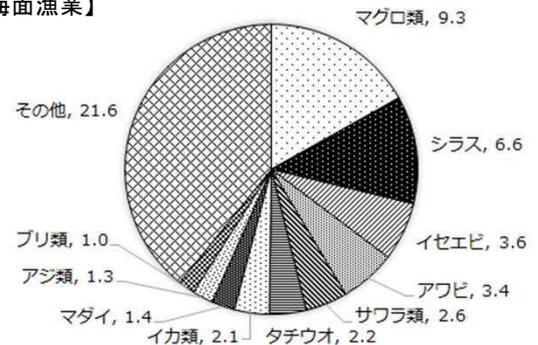
徳島県は、穏やかな内海性の播磨灘、吉野川、那賀川の二大河川の流入により栄養分豊かな紀伊水道そして外洋性の太平洋の三つの海に面しており、それぞれの海域特性に応じた多種多様な漁業が営まれています。

播磨灘では、マダイ等を対象とした定置網、エビ類などを対象とした小型底びき網のほか、ブリ類やワカメの養殖業が盛んに営まれており、紀伊水道では、ハモ、イカ類、エビ類を対象とした小型底びき網、シラスを対象とした船びき網、ハモやタチウオ等を対象としたはえ縄漁業が盛んで、また、ノリやワカメといった海藻養殖も営まれています。太平洋に面した県南部では、イワシ類やアジ類等を対象とした大型定置網、イセエビを対象とした刺網、アワビ類を対象とする採介藻などが営まれています。

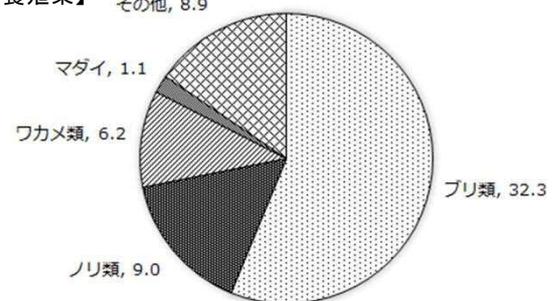
徳島県では、マグロ類、シラス、イセエビ、アワビなどの水揚げが多く、中でもイセエビ、アワビは全国上位の産出額を誇ります。



【海面漁業】



【養殖業】



徳島県のH27海面漁業・養殖業魚種別産出額
(金額単位: 億円)

◆新規就業者の状況

徳島県では、毎年約20名の方が新たに漁業へ就業されています。県外からの新規就業については、養殖業、大型定置網など、雇用型が中心となっています。

参考 (平成28年度実績)

- 新規就業者数 23名 (うち漁家子弟以外 12名)
- 年齢構成 10~20代: 7名、30~40代: 8名、50代~: 8名
- 漁業種類 一本釣り、藻類養殖など

◆新規就業支援制度

漁業経験の無い方でも、次の支援制度を活用しながら、漁業就業を目指すことができます。

- とくしま漁業アカデミー
座学、現場実習、資格取得の研修が無料で受講できる「とくしま漁業アカデミー」を開講。漁業就業に必要な知識と技術が習得できます。
また、「とくしま漁業アカデミー」での研修期間中、生活資金の支援を受けることができます（月額12.5万円以内）。
- 長期研修支援（新規漁業就業者総合支援事業）
漁業見習い期間中、ベテラン漁業者から実践的な技術指導を受けることができます（雇用型は最長1年間、独立型は最長3年間）。
- 定着支援（青年漁業者等就業支援事業）
漁業就業直後の経営が不安定な期間中、漁業に必要な漁船や漁具等の資材購入費や住宅費等について支援を受けることができます。
（最長5年間）
- 融資制度（沿岸漁業改善資金）
沿岸漁業の経営を開始するために必要な漁船建造や機器設置等の資金について、無利子で融資を受けることができます。

その他、県内市町村による独自の支援制度があります。

- 海陽町：海陽町みらいの担い手育成事業
就業に必要な技術習得のための実践的な研修を受けることができます（最長2年）。
- ※ 上記支援制度の活用にあたっては、一定の要件を満たす必要があります。
詳しくは、下記の就業相談窓口までお問い合わせ下さい。

◆就業相談窓口

求人情報や就業に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

徳島県水産振興課

〒770-8570 徳島県徳島市万代町1-1

電話 088-621-2472（直通）

ファクシミリ 088-621-2863

e-mail suisanshinkouka@pref.tokushima.jp

